



独立行政法人 国立高等専門学校機構

仙台高等専門学校
National Institute of Technology, Sendai College

学校概要 2018 平成 30 年度



新時代の技術者育成を めざして

高専という教育制度が日本の歴史に登場してから、半世紀以上が過ぎました。急速な工業化と経済成長に伴って、生産現場で実践的技術を有する人材が渴望された時代、高専は産業界の要請に応えて多大な貢献をしてきました。このことは現在でも10倍という高い求人倍率を誇っていることから明らかです。また、経済成長期を迎えているアジア諸国は、工業化のための環境整備の必要性から、日本の高専型教育制度に熱い視線を注いでいます。

一方、日本は21世紀に入ってから幾つかの問題に直面しています。企業のグローバル化は、アジアのみならず世界の各地の生産現場に対応できる技術者を要請しています。現地の人々の生活と文化を理解し、生産現場で十分なコミュニケーションのできる語学力を持つ技術者が望まれているのです。日本社会の高学歴化は、最先端で働く理工系技術者のほとんどが大学院修士課程を修了しているという状況を生み出しました。さらに先進諸国の産業界が必要とする技術も変わりつつあります。ロボットやドローンが日常化し、それらのハードウェアのみならず制御技術も重要となってきました。微細加工には各種の自動加工機や3Dプリンターが進出しています。主として機械装置であった自動車は、今や電子機器から情報機器へと進化を遂げつつあります。ナノテクノロジーは材料科学から医療・生命科学に浸透し、AIも含めて情報の操作と蓄積を主とする産業は著しく発展し続けています。世界に目を向ければ、地球環境変化や巨大自然災害、原発事故処理への対応など、未解決問題が山積みと言えるでしょう。

このような時代の変化に応えるためには、特定の専門分野において信頼できる実践技術を有する上に、広い視野と外国語によるコミュニケーション能力を持ち、ルーチンで解決できない問題に挑戦できる人材を育成しなければなりません。その解決策を追求するに当たっては、社会に対する責任感と倫理観を大切に、様々の局面で自ら行動する能力が必要です。現代社会の要請に沿った技術者としての素養を身に付けた後は、直ちに就職して社会貢献するだけではなく、大学編入学や専攻科修了後の大学院進学によって、より高度な技術者になる道もあるでしょう。教育にかかるコストが問題になる中、既存の高校・大学という教育課程に比較すれば、はるかにコスト・パフォーマンスに優れたシステムとも考えられます。さらに、産業基盤を支える技術や資格を有することは、男女に関わらず社会に貢献できる道であることも忘れてはなりません。

新しい時代に即した教育をめざして、高専のカリキュラムと教育体制は生まれ変わりつつあります。これが社会全体に受け入れられるためには、十分な広報活動が必要と考えています。関係者の皆様には、なお一層のご支援をお願いします。

仙台高等専門学校 校長 福村 裕史

はじめに

- 02 校長挨拶
- 04 設立理念・教育目標・
3つのポリシー
- 10 JABEE認定教育プログラム
高専の学校制度
- 11 歴代校長・名誉教授
- 12 沿革

組織

- 14 組織図
- 15 運営組織図
- 16 運営体制図
- 17 教職員の現員・役職員
- 18 教員一覧
- 準学士課程
- 24 総合工学科
- 26 I 類(広瀬キャンパス)
 - 情報システムコース……………26
 - 情報通信コース……………27
 - 知能エレクトロニクスコース……………28
- 29 II・III 類(名取キャンパス)
 - ロボティクスコース……………29
 - マテリアル環境コース……………30
 - 機械・エネルギーコース……………31
 - 建築デザインコース……………32

- 33 I～III 類共通
 - 応用科学コース

専攻科

- 34 情報電子システム工学専攻
- 36 生産システムデザイン工学専攻
- 38 現行学科紹介
- 39 教育改革推進センター
- 40 研究戦略企画センター

校歌

保岡 直樹 作詩 江村 玲子 作曲

新たな時代を切り開く高専の夢と意気込み、
そして未来へ躍進する姿を明るく、力強く、格調高く表現

1. 仰ぐ秀麗 蔵王の峰よ

萌ゆる若葉(みどり)に 心も躍る
自治の旗風(はたかぜ) あざやかに
たゆまぬ努力で 叡智を磨く
友よ究めん 科学の真理
ああ 仙台高専 夢呼ぶ我ら

2. 名取・広瀬の ふたつの川も

ひとつになりて 大海原へ
友愛(あい)を奏でる 波の音
溢れる情熱(おもい)は 世界をめぐる
友よ語らん 我らの使命
ああ 仙台高専 漲(みなぎ)る力

3. 高き理想と 鍛えし技で

宮城(ここ)を要に 花咲く文化
新たな息吹 頼(ほほ)にうけ
豊かな創造 時代を拓(ひら)く
友よ学ばん 希望に燃えて
ああ 仙台高専 輝く未来

校章

心のある技術者、そして、心に訴える
ものづくりができる人材を育ててほしい
という思いを込めて「心」を図案化



■デザイン

宮城高専・情報デザイン学科 平成21年3月卒業生

齋 明日美

特 色 DIC254
プロセスカラー C100 / M60 / Y18 / K0
RGBカラー R0 / G93 / B153

マスコットキャラクター

ロボットの「ロ」、キジの「ジ」、
新学科は七つで、タイ語で七の「ジェット」、
ロジックの「ロジ」から
「ロジェット」と命名



仙台高専マスコットキャラクター
「ロジェット」

施設

- 42 図書館
- 43 情報基盤センター
- 44 創造教育センター
- 46 学生相談室
特別支援室
- 47 学生寮

学生と学生生活

- 48 学生の定員及び現員
奨学生数
- 49 出身地別在学者数
編入学試験実施状況
- 50 入学志願者数の状況
- 51 卒業生の進路状況
 - 進路状況……51
 - 就職状況……52
- 54 学校行事
- 55 課外活動

収入・支出

- 56 平成29年度収入・支出額
土地・建物

教育・研究等活動

- 57 外部資金受入状況
産学官金連携(協定)一覧
- 58 国際交流

キャンパス

- 60 キャンパスマップ
- 61 アクセスマップ

設立理念

現在、社会から高専に期待されている「幅広い場で活躍する実践的・創造的技術者の養成へ」に応えるために、仙台高等専門学校は教育研究上の理念を下記のように設定する。

「高度に複合化した産業界で技術開発の中核を担う実践的・創造的な能力を有し、次世代のもののづくり技術者として国際的に通用する、人間性豊かな人材の養成を通じて、科学技術と人間社会の調和的発展に寄与する。」

目 的

仙台高等専門学校は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

仙台高等専門学校の教育目標

1. 主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材の養成
2. 広い視野をもつ実践的で創造的な技術者の養成
3. 地域や国際社会に貢献できる技術者の養成

仙台高等専門学校の3つのポリシー

（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）

総合工学科のディプロマポリシー

仙台高等専門学校は目標とする人材を育成するため、本校に在籍し準学士課程において以下に掲げるような能力・姿勢を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① 工学分野についての幅広い知識と技術を活用できる実践的な能力
- ② 異なる分野を融合させて新しい価値を創出できる創造的な能力
- ③ 国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力
- ④ 技術者として社会的役割や責任を自覚して行動する姿勢

■コースのディプロマポリシー

I 類：情報システムコース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、情報システムコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① ソフトウェアの体系的な知識と技術
- ② ハードウェアやネットワーク等の基盤技術
- ③ 情報システムの視点に立った論理的かつ実践的思考能力
- ④ 情報システムの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力

I 類：情報通信コース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、情報通信コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① 情報通信、ネットワークの体系的な知識と技術
- ② ソフトウェアやハードウェア等の基盤技術
- ③ 情報通信の視点に立った論理的かつ実践的思考能力
- ④ 情報通信の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力

I 類：知能エレクトロニクスコース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、知能エレクトロニクスコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① 電子工学の体系的な知識と技術
- ② ソフトウェアやネットワーク等の基盤技術
- ③ 電子・情報系の視点に立った論理的かつ実践的思考能力
- ④ 知能化の進むハードウェア技術の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力

II 類：ロボティクスコース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、ロボティクスコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① ロボティクスの体系的な知識と技術
- ② 機械・電気・電子・情報等の基盤技術
- ③ ロボティクスの視点に立った論理的かつ実践的思考能力
- ④ ロボティクスの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力

II 類：マテリアル環境コース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、マテリアル環境コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① マテリアルサイエンスの体系的な知識と技術
- ② 化学、生物学等の基盤技術と知識
- ③ マテリアルサイエンスと地球環境の視点に立った論理的かつ実践的思考能力
- ④ マテリアルサイエンスの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力

II 類：機械・エネルギーコース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、機械・エネルギーコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① 機械工学、電気工学、材料工学の分野にわたるエネルギーシステムに関する体系的な知識と技術
- ② 要素技術や融合・複合システムの設計・分析・評価等の基盤技術
- ③ エネルギー技術と工学の視点に立った論理的かつ実践的思考能力
- ④ エネルギー技術と工学の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力

III 類：建築デザインコース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、建築デザインコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① 建築デザインの体系的な知識と技術
- ② 都市及び建築に関わる基盤技術
- ③ 建築デザインの視点に立った論理的かつ実践的思考能力
- ④ 建築デザインの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力

I ～ III 類共通：応用科学コース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、応用科学コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① 自然科学の体系的な知識と関連技術
- ② 情報・電気電子・機械・材料等の基盤技術
- ③ 自然科学の視点に立った論理的かつ実践的思考能力
- ④ 科学と技術の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力

総合工学科のカリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた能力の育成を目的に、「くさび形教育」、「スパイラル教育」、「アクティブ・ラーニング」を共通基盤として、以下の内容を備えたカリキュラムを編成する。

- ① 工学分野の実践的な能力の育成
 - ・専門科目の内容の連続性・関連性・継続性を考慮した学年配置を行う。
 - ・実験・実習・演習などの実体験を伴う科目を数多く配置する。
- ② 創造的な能力の育成
 - ・低学年から高学年まで、創造性の育成に関連した幅広い科目を配置する。
- ③ 国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力の育成
 - ・英語や国語などの科目を配置すると共に、様々な科目においてディスカッションやプレゼンテーションの機会を設定する。
- ④ 技術者として社会的役割や責任を自覚して行動する姿勢の育成
 - ・社会人として求められる多様な教養や倫理観を育成するために、広範なリベラル・アーツ科目を配置する。

これらの科目群に係る単位修得の認定は、定期試験並びに小テスト、レポート、プレゼンテーションなどの成績を総合的に評価し認定する。

科目の成績は、下記の基準により評価する。

S (90～100点) 特優 A (80～89点) 優 B (70～79点) 良 C (60～69点) 可 D (0～59点) 不可

■コースのカリキュラムポリシー

I 類：情報システムコース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、情報システムコースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① 情報システムの中核となる情報工学基礎、情報処理等の知識と技術を体系的に習得させる。
- ② 情報システムを支える計算機システム、電気電子・通信等の情報・電子系に必要とされる基本的な知識を習得させる。
- ③ 情報システムの実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、情報システムの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

I 類：情報通信コース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、情報通信コースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① 情報通信の中核となる情報通信工学基礎、情報処理等の知識と技術を体系的に習得させる。
- ② 情報通信を支える電気電子・通信、ネットワーク、計算機システム等の情報・電子系に必要とされる基本的な知識を習得させる。
- ③ 情報通信の実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、情報通信の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

I 類：知能エレクトロニクスコース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、知能エレクトロニクスコースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① 電子機器の中核となるエレクトロニクス及び各種デバイス等の知識と技術を体系的に習得させる。
- ② 機器の知能化を支えるプログラミング及びマイクロコンピュータ技術等の情報・電子系に必要とされる基本的な知識を習得させる。
- ③ 電子・情報系の実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、知能化の進むハードウェア技術の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

II 類：ロボティクスコース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、ロボティクスコースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① ロボティクスの中核となるロボット工学とその関連分野の基礎知識と技術を体系的に習得させる。
- ② ロボティクス技術を支える機械力学、電気・電子回路、情報技術等のロボティクスに必要とされる基本的な知識を習得させる。
- ③ ロボティクスの実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、ロボティクスの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

Ⅱ 類：マテリアル環境コース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、マテリアル環境コースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① マテリアル環境の柱となるマテリアルサイエンスの知識と技術を体系的に習得させる。
- ② 地球環境の理解の基礎となる化学・生物学の基本的知識を習得させる。
- ③ マテリアルサイエンス、環境分析に関する実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、マテリアルと環境の視点から創造性や問題解決能力を高め、環境維持と社会発展に貢献できる能力を育成する。マテリアル技術の社会的役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

Ⅱ 類：機械・エネルギーコース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、機械・エネルギーコースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① エネルギーシステムの柱となる機械工学、電気工学、材料工学等の知識と技術を体系的に習得させる。
- ② エネルギーシステムを支える「ものづくり」や電気回路、材料物性等の要素技術や複合・融合システムの創造・設計に必要とされる基本的な知識を習得させる。
- ③ エネルギーシステムやその要素技術の実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、エネルギー技術と工学の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

Ⅲ 類：建築デザインコース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、建築デザインでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① 建築デザインの中核となる都市・建築学とその関連分野の基礎知識と技術を体系的に習得させる。
- ② 建築デザイン技術を支える建築計画、建築設計、建築環境、建築構造等の未来の都市・建築を生み出すために必要とされる基本的な知識を習得させる。
- ③ 建築デザインの実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、建築デザインの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

I ～Ⅲ 類共通：応用科学コース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、応用科学コースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① 自然科学の中核となる古典力学、量子力学、熱統計力学等の知識と技術を体系的に習得させる。
- ② 最先端の科学技術を支える物性、情報、非線形システム等の応用物理・物理工学系に必要とされる基本的な知識を習得させる。
- ③ 自然科学の実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、科学と技術の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

総合工学科のアドミッションポリシー

■ 準学士課程(本科)のアドミッションポリシー

入学者に期待される人間像

- ① 技術者として活躍しようという意欲とそれを実現できる能力のある人
- ② 科学と技術に興味・関心がある人
- ③ 自ら考えて行動し、粘り強く努力する人
- ④ 他人への思いやりがあり、責任感のある人

入学者選抜の基本方針

- ① 中学校卒業程度の基礎的な学力を身に付けているかどうかを重視します。
- ② 自ら考えて行動し、粘り強く努力する姿勢、科学と技術への興味・関心、他人への思いやりや責任感のある人かどうかを評価します。
- ③ さらに推薦による選抜においては、筋道を立てて自分の考えを相手に伝える能力も評価の対象とします。

■準学士課程の編入学のアドミッションポリシー

入学者に期待される人間像

- ① 技術者として地域や国際社会で活躍しようという意欲のある人
- ② 科学技術に興味・関心がある人
- ③ 自ら考えて行動し、粘り強く努力する人
- ④ 他人への思いやりがあり、責任感のある人
- ⑤ 高等学校において科学又は技術の基礎を習得した人

入学者選抜の基本方針

- ① 高等学校卒業程度の基礎的な学力を身に付けているかどうかを重視します。
- ② 自ら考えて行動し、粘り強く努力する姿勢、科学と技術への興味・関心、他人への思いやりや責任感のある人かどうかを評価します。
- ③ 筋道を立てて自分の考えを相手に伝える能力も評価の対象とします。

専攻科のディプロマポリシー

仙台高等専門学校は目標とする人材を育成するため、本校に在籍し専攻科課程において以下に掲げるような能力・姿勢を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。

- ① 実践的技術者としての高度にかつ幅広い基本的能力・素養
- ② 融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力
- ③ 国際的に通用するコミュニケーション能力
- ④ 社会的責任を考慮して研究・開発する能力
- ⑤ 高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力

専攻科のカリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた能力の育成を目的に、専攻科では、準学士課程で培った実践的かつ創造的能力、及び人間力を更に高め、融合複合領域において国際的に通用する高度な実践的技術者を養成するため、以下の内容を備えたカリキュラムを編成する。

- ① 準学士課程で培った実践的技術者としての基本的能力・素養をより高度にかつ幅広く習得することが可能な、一般・専門科目群を配置する。
- ② 融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力を育成するために、専攻実験・専攻研究等の異なる技術の創造的な融合に取り組む科目を配置する。
- ③ 国際的に通用するコミュニケーション能力を育成するために、英語、専攻英語、専攻研究等の日本語・外国語による討論や対外的な研究発表を行う科目を配置する。
- ④ 社会的責任を考慮して研究・開発する能力を育成するために、倫理観を涵養する技術者倫理、思想史、及び地域・企業と連携して教育するインターンシップ等の科目を配置する。
- ⑤ 高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力を育成する科目、創造工学演習、専攻実験・演習、専攻研究等を配置する。

これらの科目群に係る単位修得の認定は、定期試験並びに小テスト、レポートなどの成績を総合的に評価し認定する。

科目の成績は、下記の基準により評価する。

S (90～100点) 特優 A (80～89点) 優 B (70～79点) 良 C (60～69点) 可 D (0～59点) 不可

専攻科のアドミッションポリシー

■情報電子システム工学専攻／生産システムデザイン工学専攻のアドミッションポリシー

入学者に期待される人間像

- ① 自ら学ぶための基礎的な学力と資質を有する人
- ② コミュニケーションの基本を身に付けた人
- ③ 社会の一員として、社会に貢献する気概を有する人
- ④ 自発的に問題を発見し、解決する意欲を有する人
- ⑤ 豊かな人間性を有する人

入学者選抜の基本方針

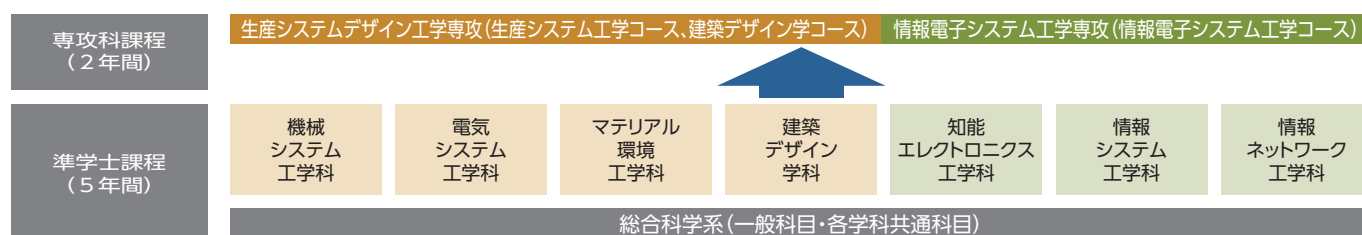
- ① 科学・工学の基礎的な学力を評価します。
- ② 論理的に自分の考えを相手に伝える能力を評価の対象とします。
- ③ さらに推薦選抜においては、社会の一員として、様々な問題を自発的に発見・解決し、人類・社会に貢献する意志を重視します。

教育体制

平成 28 年度以前入学者

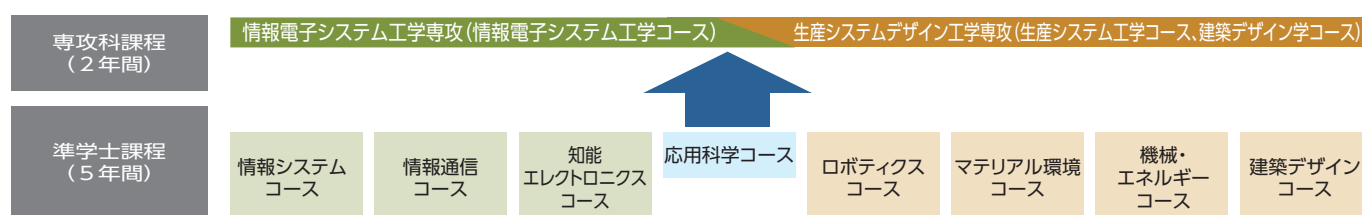
学科(準学士課程)	専攻科
・生産システムデザイン工学系 機械システム工学科・電気システム工学科 マテリアル環境工学科・建築デザイン学科	・生産システムデザイン工学専攻 生産システム工学コース 建築デザイン学コース
・情報電子システム工学系 知能エレクトロニクス工学科・情報システム工学科 情報ネットワーク工学科	・情報電子システム工学専攻 情報電子システム工学コース

下図は、本校の教育体制における準学士課程(機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科、知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科、及び総合科学系)と、専攻科課程(生産システムデザイン工学専攻、情報電子システム工学専攻)の関係を表しています。



平成 29 年度以降入学者

総合工学科(準学士課程)	専攻科
I 類 情報システムコース、情報通信コース、知能エレクトロニクスコース 応用科学コース	・情報電子システム工学専攻 情報電子システム工学コース
II 類 ロボティクスコース、マテリアル環境コース、機械・エネルギーコース	・生産システムデザイン工学専攻 生産システム工学コース 建築デザイン学コース
III 類 建築デザインコース	



JABEE認定教育プログラム

日本技術者教育認定機構(JABEE)は、学問を教える工学教育から技術者を育てる技術者教育への転換を実現し、日本の技術水準を国際水準に整合させる目的で設立されました。JABEE認定制度は平成13年度から始まり、平成13年度は3大学が認定を受けました。仙台高専専攻科の前身である宮城高専専攻科と仙台電波高専専攻科は、翌14年度に東北の大学及び全国の高専専攻科では最初に認定を受けました。平成19年度及び平成24年度に継続認定となり、仙台高専の教育システム・卒業生の能力は、大学と同等であることが国際的に認められています。



JABEE修了証書授与式

■日本技術者教育認定機構(JABEE)認定の教育プログラム

準学士課程4年次(一部3年次科目を含む)から専攻科2年次までの4年間は、次の2つのプログラムに基づいた教育が行われます。各プログラムは、4年制大学の教育内容が保証されるとともに、国際化に対応したものとして高い評価を得ているものです。したがって、この教育プログラムを修了すると、技術者に必要な基礎教育を完了したものとして技術士第1次試験を免除されて直接「修習技術者」となり、一定の条件のもとでの経験年数を経て、技術士の受験資格が得られます。

広瀬キャンパス

情報電子システム工学プログラム

本プログラムは、電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野で、JABEE認定を受けました。新たな高度情報電子技術産業の創出を促進するために、人間・社会・環境に優しい技術開発に携わることができる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた国際的に通用するエンジニアを養成します。

名取キャンパス

生産システムデザイン工学プログラム

本プログラムは、工学(融合複合・新領域)及びその関連の工学分野で、JABEE認定を受けました。人類と自然が調和した社会の実現に向けて、総合的な技術革新に携わることができる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた国際的に通用するエンジニアを養成します。

高専の学校制度

右図は、学校制度における、高専の学科(準学士課程)及び高専専攻科(専攻科課程)の位置付けを表しています。

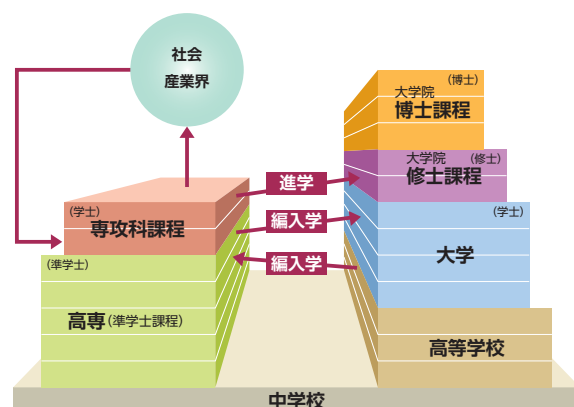
中学校卒業者は、高専(準学士課程)への入学資格があります。

高校卒業者は、高専(準学士課程)への編入学資格があります。

高専(準学士課程)卒業者は、大学への編入学資格があります。

高専(準学士課程)卒業者は、高専専攻科課程への入学資格があります。

専攻科課程を修了し、大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位を授与された者は、大学院への入学資格があります。



歴代校長・名誉教授

平成30年9月1日現在

■仙台高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初代	宮城 光信	平成21年10月1日～平成22年3月31日
第2代	内田 龍男	平成22年4月2日～平成28年3月31日
第3代	福村 裕史	平成28年4月1日～

Honorary Professor

氏名	国籍	称号授与年月日	授与理由
Luvannyam Gantumur	モンゴル	平成25年4月12日	本校卒業後モンゴル国教育・科学大臣に就任、学術交流に尽力した

名誉教授

氏名	称号授与年月日
宮城 光信	平成22年4月1日
花熊 克友	平成22年4月1日
千葉 正昭	平成23年4月1日
生田 信之	平成23年4月1日
高村 潔	平成23年4月1日
伊藤 憲雄	平成23年4月1日
青木 恭介	平成23年4月1日
本間 敏行	平成23年4月1日
逢坂 雄美	平成23年4月1日
野田 泰久	平成23年4月1日
加藤 靖	平成23年4月1日

氏名	称号授与年月日
松谷 保	平成24年4月1日
柴田 公博	平成24年4月1日
名久井 孝義	平成24年4月1日
小野寺 重文	平成24年4月1日
石山 純一	平成25年4月1日
丹野 顯	平成25年4月1日
鯨井 千佐登	平成26年4月1日
海野 啓明	平成26年4月1日
鈴木 吉朗	平成27年4月1日
櫻井 宏	平成27年4月1日

氏名	称号授与年月日
羽賀 浩一	平成27年4月1日
内田 龍男	平成28年4月1日
佐藤 安功	平成28年4月1日
佐々木 典彦	平成28年4月1日
大泉 哲哉	平成28年4月1日
鈴木 隆之	平成28年4月1日
平間 哲雄	平成30年4月1日
藤木 なほみ	平成30年4月1日
佐藤 公男	平成30年4月1日
佐藤 敏行	平成30年4月1日

■宮城工業高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初代	黒川 利雄	昭和38年4月1日
第2代	鈴木 廉三九	昭和38年4月2日～昭和51年4月1日
第3代	河上 房義	昭和51年4月1日～昭和58年4月1日
第4代	山口 格	昭和58年4月1日～平成元年3月31日

代数	歴代校長名	在任期間
第5代	矢澤 彬	平成元年4月1日～平成7年3月31日
第6代	斉藤 正三郎	平成7年4月2日～平成12年3月31日
第7代	四ツ柳 隆夫	平成12年4月2日～平成19年3月31日
第8代	宮城 光信	平成19年4月1日～平成21年9月30日

名誉教授

氏名	称号授与年月日
水谷 敏	昭和63年4月1日
小枝 昌造	平成4年4月1日
石井 浩	平成5年4月1日
伊藤 繁巳	平成5年4月1日
斉藤 克己	平成6年4月1日
早坂 高則	平成6年4月1日
早坂 茂	平成7年4月1日
有川 晋	平成8年4月1日
鈴木 昭逸	平成8年4月1日
桑原 孝夫	平成9年4月1日

氏名	称号授与年月日
木村 茂	平成9年4月1日
渡辺 宏	平成10年4月1日
阿部 邦利	平成12年3月16日
千葉 胤明	平成12年3月27日
斉藤 正三郎	平成12年4月1日
岡田 将彦	平成12年4月1日
大泉 智壽	平成14年4月1日
小野 堯之	平成15年4月1日
坂本 政記	平成15年4月1日
百瀬 丘	平成17年4月1日

氏名	称号授与年月日
丹野 浩一	平成17年4月1日
庄司 彰	平成18年4月1日
唐澤 信司	平成18年4月1日
四ツ柳 隆夫	平成19年4月1日
松浦 眞	平成19年4月1日
池田 千里	平成19年4月1日
佐々木 慈彦	平成20年4月1日
澁谷 純一	平成20年4月1日
田口 収	平成20年4月1日
吉田 光彦	平成21年4月1日

■仙台電波工業高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初代	角川 正	昭和46年4月1日～昭和49年12月21日
第2代	平原 榮治	昭和50年4月3日～昭和58年3月31日
第3代	高橋 正	昭和58年4月3日～平成2年3月31日

代数	歴代校長名	在任期間
第4代	山田 竹實	平成2年4月1日～平成9年3月31日
第5代	渡辺 英夫	平成9年4月1日～平成17年3月31日
第6代	宮城 光信	平成17年4月2日～平成21年9月30日

名誉教授

氏名	称号授与年月日
高橋 正	平成2年8月16日
中川 一郎	平成3年5月27日
横田 慎一	平成8年4月1日
古谷 恒雄	平成10年4月1日
長島 富太郎	平成12年4月1日
宮城 篤	平成13年4月1日

氏名	称号授与年月日
中林 撰	平成15年4月1日
竹内 登志男	平成15年4月1日
根岸 幸康	平成16年4月1日
三浦 幹雄	平成16年4月1日
渡辺 英夫	平成17年4月1日
細川 幸也	平成17年4月1日

氏名	称号授与年月日
今野 眞	平成19年4月1日
浅見 誠治	平成19年4月1日
服部 正行	平成19年4月1日
福島 正忠	平成19年4月1日
鹿股 昭雄	平成20年4月1日
熊谷 正純	平成21年4月1日

沿革

我が国の産業のめざましい発展と科学技術の著しい高度化に伴い、有為な技術者の養成が社会の各方面から強く要望され、昭和36年の学校教育法の一部改正により、高等教育機関として新たに中学校卒業程度を入学資格とする5年制の高等専門学校制度が発足しました。現在、51国立高専と3公立高専、3私立高専が設置されています。

本校は、宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校とを高度化再編し、平成21年10月1日に仙台高等専門学校(広瀬キャンパス・名取キャンパス)として設置したものです。

	宮城工業高等専門学校	仙台電波工業高等専門学校
昭和18年1月22日 4月1日 11月1日		(財)東北無線電信講習所設置 特科を設置 逓信省所管の官立無線電信講習所仙台支所となる
昭和20年4月1日		官制改正により官立仙台無線電信講習所として独立
昭和24年5月31日		国立仙台電波高等学校となる
昭和38年4月1日	宮城工業高等専門学校設置 機械工学科、電気工学科、建築学科	
昭和43年度	金属工学科を新増設	
昭和46年4月1日		仙台電波工業高等専門学校となる 電波通信学科(2学級)
昭和52年度		電波通信学科1学級を電子工学科に改組
昭和53年度		情報工学科を新設
昭和60年度		電子制御工学科を新設
昭和61年度	金属工学科を材料工学科に改組	
平成元年度		電波通信学科を情報通信工学科に改称
平成3年度	2専門履修コース設置	
平成5年度	情報デザイン学科を増設	専攻科を設置 電子システム工学専攻 情報システム工学専攻
平成10年度	専攻科を設置 生産システム工学専攻 建築・情報デザイン学専攻	
平成15年度	JABEE認定 生産システムデザイン工学プログラム ー工学(融合複合・新領域)分野ー	JABEE認定 電子情報システム工学プログラム ー電気・電子・情報通信及びその関連分野ー (平成22年3月に名称が「情報電子システム工学プログラム」に変更)
平成16年度	独立行政法人国立高等専門学校機構 宮城工業高等専門学校となる	独立行政法人国立高等専門学校機構 仙台電波工業高等専門学校となる

	仙台高等専門学校
平成21年10月1日	宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校を高度化再編し、仙台高等専門学校を設置 学 科／機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科、 知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科 専攻科／生産システムデザイン工学専攻、情報電子システム工学専攻 地域人材開発本部(地域イノベーションセンター、CO-OP教育センター、ICT先端開発センター)を設置
平成27年5月1日	地域人材開発本部を廃止し、研究推進センターを設置
平成29年4月1日	学科改組し、一学科とし、学科の下に以下を設置 学 科／総合工学科 コース／情報システムコース、情報通信コース、知能エレクトロニクスコース、ロボティクスコース、マテリアル環境コース、 機械・エネルギーコース、建築デザインコース、応用科学コース 研究推進センターを廃止、 教育改革推進センター、研究戦略企画センターを設置

平成21年10月高度化再編以降の概要

■宮城工業高等専門学校

学科(入学定員200人)

機械工学科 電気工学科 建築学科 材料工学科
情報デザイン学科

専攻科(入学定員20人)

生産システム工学専攻 建築・情報デザイン学専攻

●地域共同テクノセンター

■仙台電波工業高等専門学校

学科(入学定員160人)

情報通信工学科 電子工学科 電子制御工学科
情報工学科

専攻科(入学定員16人)

電子システム工学専攻 情報システム工学専攻

●地域連携テクノセンター

再 編／平成21年10月
学生受入開始／平成22年4月

高度化再編

・教育の質の向上
・地域産業界との連携強化
・高専広域連携の核

■仙台高等専門学校

学科(入学定員280人)

機械システム工学科 電気システム工学科 マテリアル環境工学科 建築デザイン学科
知能エレクトロニクス工学科 情報システム工学科 情報ネットワーク工学科

専攻科(入学定員70人)

生産システムデザイン工学専攻 情報電子システム工学専攻

地域人材開発本部

地域イノベーションセンター CO-OP教育センター ICT先端開発センター

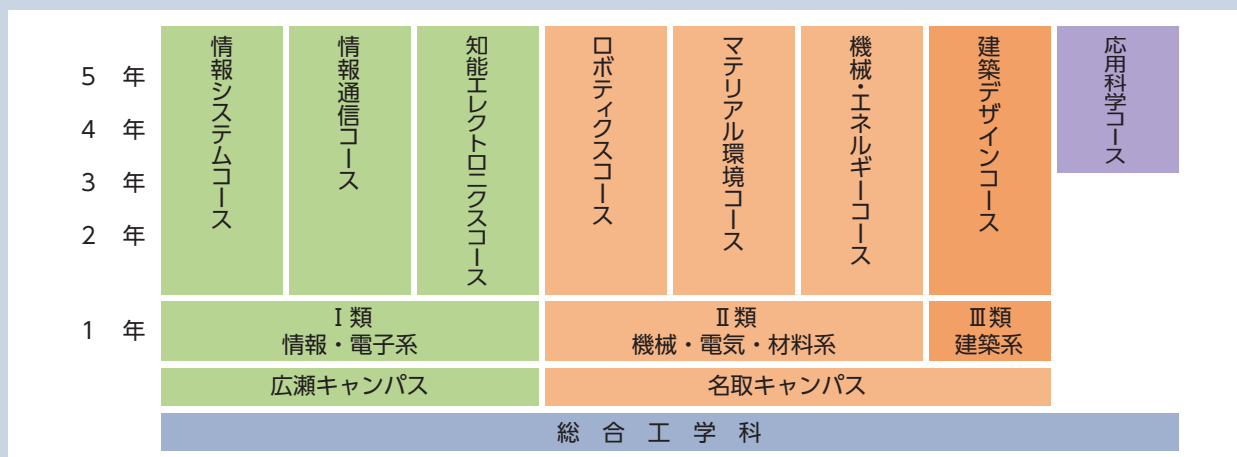
再 編／平成29年4月
学生受入開始／平成29年4月

1学科制に再編

実践的で創造的なものづくりの発展に
貢献できる人材を育成

■総合工学科

主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材、広い視野をもつ実践的で創造的な技術者、地域や国際社会に貢献できる技術者を育成



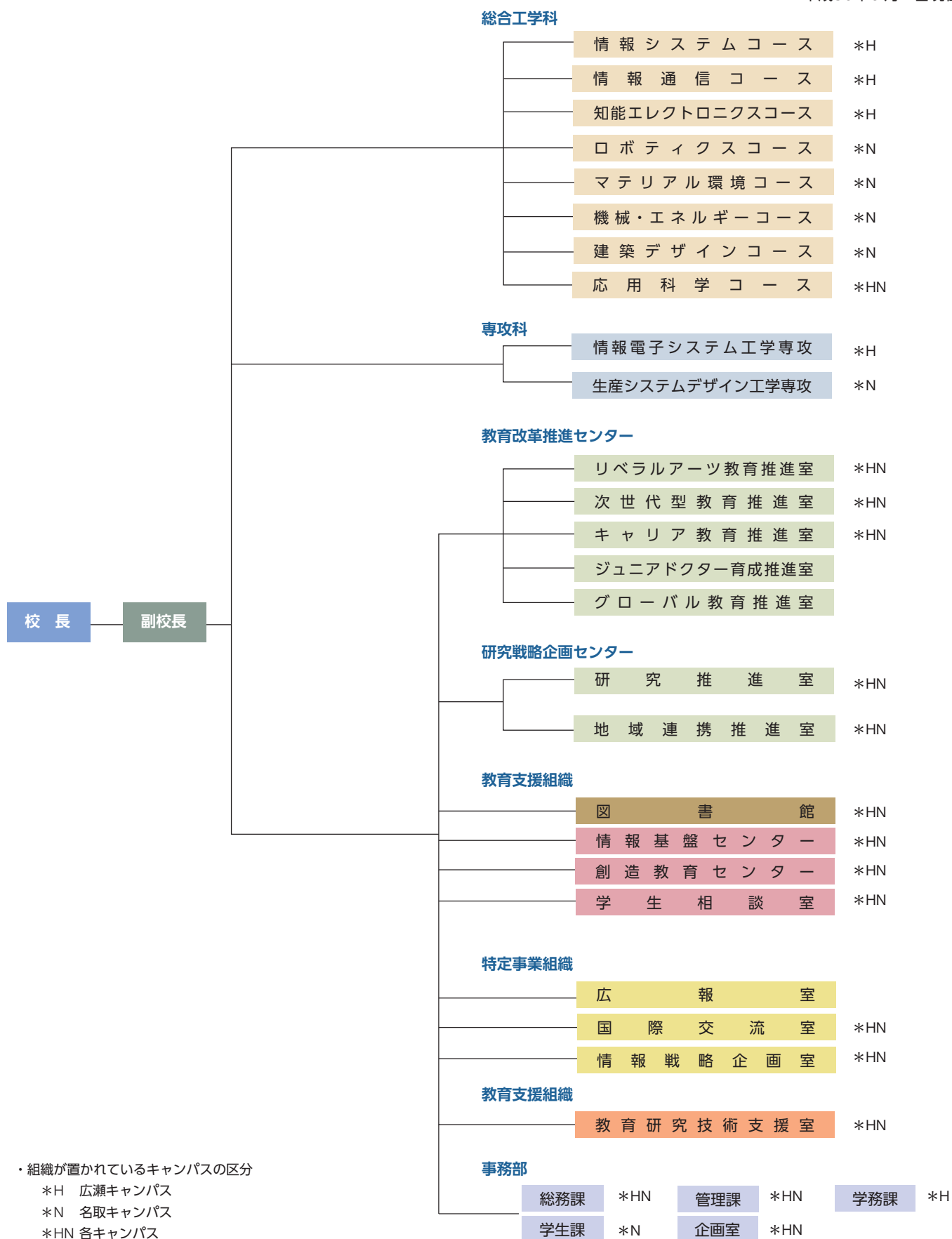
■特 徴

1学科8コースからなる1学科制

- ・低学年で統一した専門基礎教育を行うことによる基礎学力の質の保証。
- ・他コースの単位取得に制限がないため、幅広く適性に応じた複合的学习が可能。
- ・様々な分野を広く学べるため、適性に応じたキャリア形成が可能。
- ・類毎での入学選抜を採用し、入学後1年をかけて専攻コースを選択。2年進学時にコース配属を行うことで、適性に合った専門を選択可能。

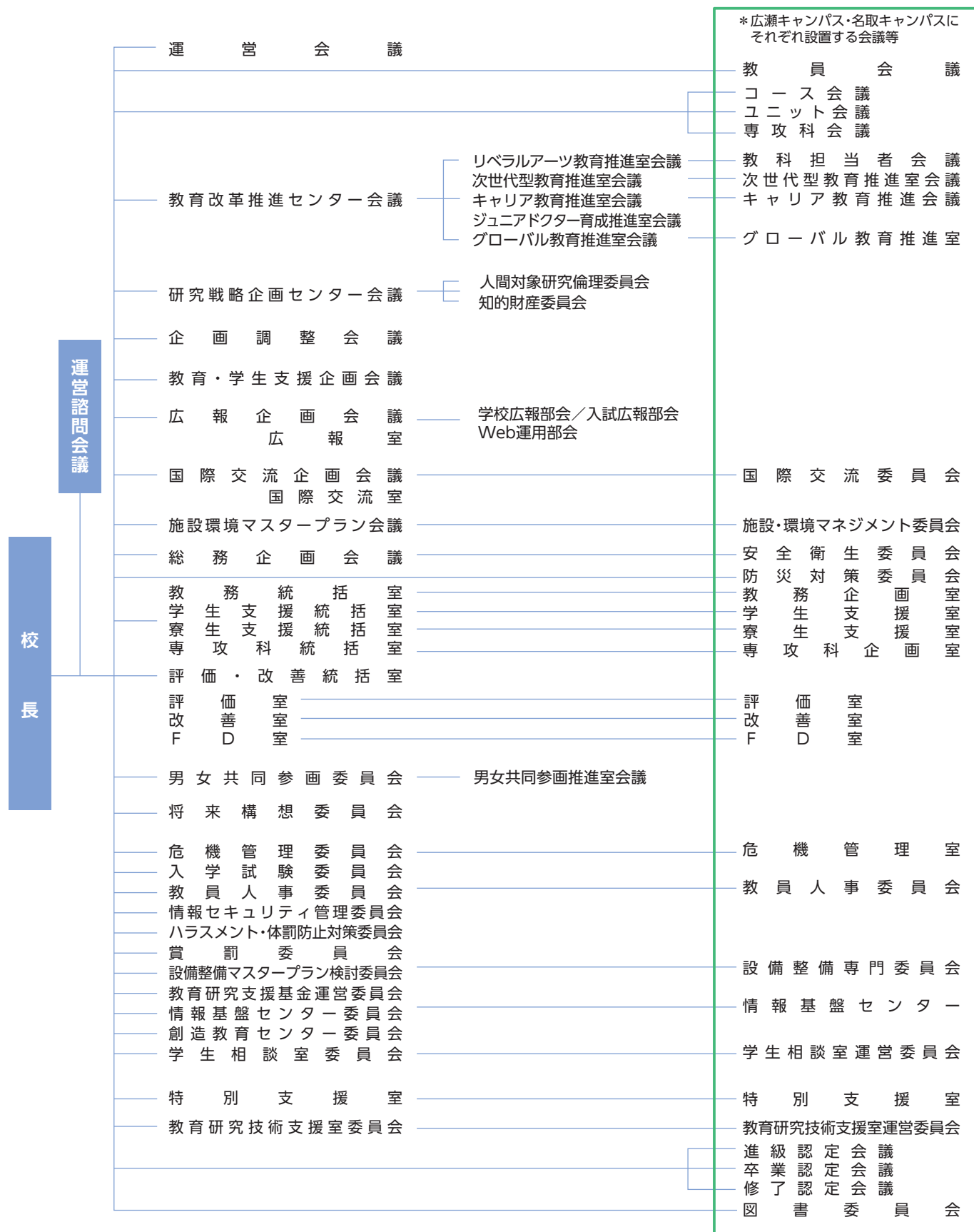
組織図

平成30年9月1日現在



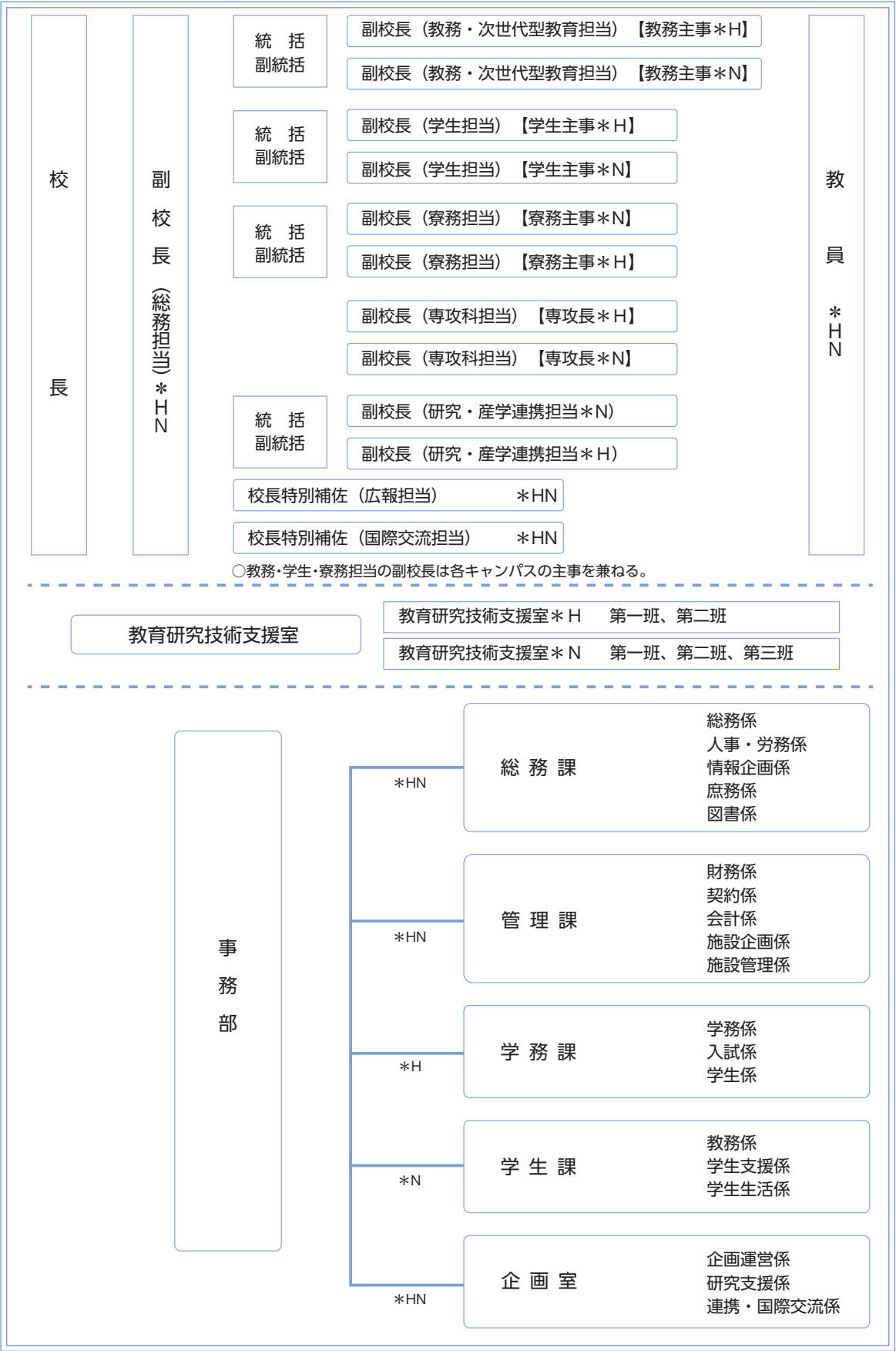
運営組織図

平成30年9月1日現在



運営体制図

平成30年9月1日現在



*H 広瀬キャンパス
*N 名取キャンパス
*HN 両キャンパス

教職員の現員

平成30年9月1日現在

■現員

校長	教授	准教授	講師	助教・助手	小計	職員	合計
1	60	45	1	18	125	77	202

■教員の年齢構成

年齢区分	教授		准教授		講師		助教・助手		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
21～30							3	1	3	1	4
31～40			11	4			10	2	21	6	27
41～50	15	1	18	3	1		1	1	35	5	40
51～60	32	3	8						40	3	43
61～70	8	1	1						9	1	10
計	55	5	38	7	1	0	14	4	108	16	124

役職員

平成30年9月1日現在

校長 福村 裕史

副校長(総務担当)・総合工学科長 教育研究技術支援室長〔広瀬〕	馬場 一 隆	副校長(総務担当)・副総合工学科長 教育研究技術支援室長〔名取〕	佐藤 一 志
副校長(教務担当兼次世代型教育担当)・教務主事〔広瀬〕 教育改革推進センター長・Ⅰ類長	白根 崇	副校長(教務担当兼次世代型教育担当)・教務主事〔名取〕・ 教育改革推進センター長	伊藤 昌 彦
副校長(学生担当)・学生主事〔広瀬〕	久保田 佳 克	副校長(学生担当)・学生主事〔名取〕	浅田 格
副校長(寮務担当)・寮務主事〔広瀬〕	伊勢 英 明	副校長(寮務担当)・寮務主事〔名取〕	熊谷 晃 一
副校長(専攻科担当)・ 情報電子システム工学専攻長・応用科学コース主任	松枝 宏 明	副校長(専攻科担当)・ 生産システムデザイン工学専攻長	本郷 哲
副校長(研究・産学連携担当)〔広瀬〕・専攻科長 研究戦略企画センター副センター長	林 忠 之	副校長(研究・産学連携担当)〔名取〕・副専攻科長 研究戦略企画センター長	遠藤 智 明
図書館長〔広瀬〕	福地 和 則	図書館長〔名取〕	岡崎 久美子
導入教育主任・総合科学系長	小松 京 嗣	導入教育主任	佐藤 友 章
総合科学系副系長	矢澤 睦	総合科学系文教科長	千葉 幸一郎
情報システムコース主任	早川 吉 弘	総合科学系理数教科長	今野 一 弥
情報システム工学科長	熊谷 和 志	ロボティクスコース主任・ 電気システム工学科長・Ⅱ類長	中村 富 雄
情報通信コース主任・ 情報ネットワーク工学科長	平塚 眞 彦	マテリアル環境コース主任・ マテリアル環境工学科長	北川 明 生
知能エレクトロニクスコース主任・ 知能エレクトロニクス工学科長	那須 潜 思	機械・エネルギーコース主任・ 機械システム工学科長	石川 信 幸
		建築デザインコース主任・Ⅲ類長・建築デザイン学科長	坂口 大 洋

事務部長 宮崎 正人

総務課長	荒 孝 二	学生課長	安達 雄 一
管理課長	高橋 孝 一	企画室長	水戸辺 栄 一
学務課長	飯島 賢 道		

教員一覧

■広瀬キャンパス教員一覧 《職名毎、50音順》

職名・学位	氏 名		専門分野	研究テーマ
教授 文学修士	伊 勢 英 明	ISE Hideaki	文芸学	日本文芸誌の話題論敵研究
教授 博士（理学）	岡 本 圭 史	OKAMOTO Keishi	計算機科学	高信頼で安全なソフトウェアに関する研究
教授 博士（工学）	奥 村 俊 昭	OKUMURA Toshiaki	電気工学／電子工学	画像からの対象領域の自動抽出
教授 博士（工学）	柏 葉 安 宏	KASHIWABA Yasuhiro	電気工学／電子工学	酸化亜鉛を用いたデバイスの作製に向けて
教授 修士（教育学）	久保田 佳 克	KUBOTA Yoshikatsu	教育学	四技能をバランスよく伸ばす英語学習法
教授 博士（工学）	熊 谷 和 志	KUMAGAI Kazushi	その他	自転車用高効率ペダリング機構
教授 博士（理学）	小 松 京 嗣	KOMATSU Kyoji	理論化学	有機材料の光デバイス化
嘱託教授 工学博士	佐 藤 公 男	SATO Kimio	計算機科学	自己学習支援のためのGUIシステムの開発
教授 博士（工学）	白 根 崇	SHIRANE Takashi	物性物理学	磁性体の非線形特性に関する研究
嘱託教授 工学修士	菅 谷 純 一	SUGAYA Junichi	電気工学／電子工学	慣性ロータ型倒立振子の制御および2軸液面制御に関する不確かな状況における制御方式に関する研究
教授 工学博士	鈴 木 哲	SUZUKI Tetsu	電気工学／電子工学	低価格なテラヘルツ帯検出器アレイの開発
教授 博士（学術）	園 田 潤	SONODA Jun	電気工学／電子工学	高速・高精度度・大規模シミュレーションに基づく新しい電磁波デバイスの開発
教授 文学修士	竹 内 素 子	TAKEUCHI Motoko	教育学	英語ができる高専生の育成 ・男女共同参画社会を目指して
教授 博士（情報科学）	竹 島 久 志	TAKESHIMA Hisashi	その他工学	障害児・者のための学習・生活活動支援機器（ソフト含む）に関する研究
教授 修士（文学）	武 田 拓	TAKEDA Taku	応用言語学	①宮城県を中心とした方言の調査研究 ②ことばに興味関心をもち、適切に使いこなすための啓蒙活動
教授 博士（情報科学）	千 葉 慎 二	CHIBA Shinji	電気工学／電子工学	IoTを活用した地域産業・コミュニティの抱える課題解決への取組
教授 博士（工学）	那 須 潜 思	NASU Senshi	電気工学／電子工学	画像の取得、処理、表示に関わる応用技術
教授 工学博士	馬 場 一 隆	BABA Kazutaka	電気工学／電子工学	扱いやすく安価な光技術実験教材の開発
教授 博士（情報科学）	早 川 吉 弘	HAYAKAWA Yoshihiro	情報学／インフォマティクス	ニューラルネットワークに基づく情報処理応用
教授 博士（工学）	林 忠 之	HAYASHI Tadayuki	電気工学／電子工学	超高感度磁気センサによる微弱微細磁場計測と超微細磁気記録
教授 博士（情報科学）	平 塚 眞 彦	HIRATSUKA Masahiko	計算機科学	超並列分子コンピュータの実現へ向けて
教授 教育学修士	福 地 和 則	FUKUCHI Kazunori	英語学、英語教育	日本人英語学習者の統語構造の獲得

職名・学位	氏 名		専門分野	研究テーマ
嘱託教授 Ph.D	藤 木 なほみ	FUJIKI Nahomi	情報学／インフォマティクス	人間のような柔軟な認識・推測システムの実現を目指して
教授 博士（工学）	松 枝 宏 明	MATSUEDA Hiroaki	応用数学	ホログラフィー原理に基づく異分野横断の数理
教授 修士（児童学）	矢 澤 睦	YAZAWA Atsushi	教育学	多文化・多様性教育の多元的アプローチ
教授 博士（工学）	矢 島 邦 昭	YAJIMA Kuniaki	教育学	生体情報を用いた集中度の客観的評価
教授 博士（工学）	袁 巧 微	YUAN Qiaowei	電気工学／電子工学	高効率なワイヤレス給電及び送電技術に関する研究
教授 修士（工学）	與那嶺 尚 弘	YONAMINE Takahiro	電気工学／電子工学	言語機能訓練支援システムの開発
教授 工学修士	脇 山 俊一郎	WAKIYAMA Shunichiro	計算機科学	エリア放送を用いた地域情報発信基盤の構築
准教授 博士（情報科学）	安 藤 敏 彦	ANDO Toshihiko	情報学／インフォマティクス	人と情報・人工物との社会的相互作用
准教授 博士（工学）	今 井 裕 司	IMAI Yuji	材料工学	有機強誘電体フィルムの作製とセンサ応用
准教授 博士（工学）	岩 井 克 全	IWAI Katsumasa	その他工学	Er:YAGレーザ光伝送システムとその医療応用に関する研究
准教授 博士（工学）	大 場 譲	OHBA Yuzuru	機械工学	実用へ向けた制御技術の研究
准教授 博士（文学）	笠 松 直	KASAMATSU Sunao	東洋哲学・歴史言語学	古インドアリア語文献群の歴史言語学的研究
准教授 博士（理学）	兼 下 英 司	KANESHITA Eiji	物性物理学	高温超伝導体の磁気秩序相及びクラスレート化合物における励起状態の研究
准教授 修士（障害科学）	兼 村 裕 介	KANEMURA Yusuke	その他	ラグビーフットボールの普及・育成
准教授 博士（工学）	川 崎 浩 司	KAWASAKI Koji	物性物理学	半導体内に光生成されたキャリアの振る舞いに関する研究
准教授 修士（情報科学）	菅 野 浩 徳	KANNO Hironori	計算機科学	情報流通基盤技術の研究開発
准教授 博士（工学）	小 林 秀 幸	KOBAYASHI Hideyuki	電気工学／電子工学	無線センサネットワークを用いた環境認識
准教授 博士 （工学）	佐久間 実 緒	SAKUMA Mio	その他工学	言語聴覚療法支援システムの開発
准教授 博士（理学）	佐 藤 健太郎	SATO Kentaro	物性物理学	原子層物質の共鳴ラマン分光
准教授 博士（理学）	下 田 泰 史	SHIMODA Taishi	解析学	2階偏微分作用素の準楕円性の研究・非自己共役作用素のスペクトル解析
准教授 博士（工学）	末 永 貴 俊	SUENAGA Takatoshi	その他	人と人、人と機械をつなぐ技術の研究
准教授 博士（情報科学）	高 橋 晶 子	TAKAHASHI Akiko	計算機科学	利用者情報と提供情報価値を考慮した情報共有のためのネットワークシステムに関する研究
嘱託准教授 工学修士	武 田 正 則	TAKEDA Masanori	電気回路、教育方法	ファシリテーション対応アクティブラーニング
准教授 博士（工学）	速 水 健 一	HAYAMI Ken-ichi	計算機科学	ネットワーク等の応用ソフトウェアの開発

職名・学位	氏 名		専門分野	研究テーマ
准教授 博士（情報科学）	藤 原 和 彦	FUJIWARA Kazuhiko	情報学／インフォマティクス	衛星画像を用いた環境解析
准教授 博士（工学）	穂 坂 紀 子	HOSAKA Noriko	物性物理学	光学的手法によるコンポジションスプレッド薄膜材料の磁気物性評価
准教授 博士（情報科学）	力 武 克 彰	RIKITAKE Yoshiaki	計算機科学	価値あるソフトウェアを生み出すための開発支援に関する研究
講師 博士（理学）	長谷部 一 気	HASEBE Kazuki	素粒子物理学	トポロジ的物質の数理と物理
助教 博士（理学）	加賀谷 美 佳	KAGAYA Mika	観測天文学	ガンマ線イメージングカメラの開発
助教 博士（情報科学）	衣 川 昌 宏	KINUGAWA Masahiro	電気工学／電子工学	電磁波・ハードウェアセキュリティに関する研究
助教 修士（工学）	鈴 木 順	SUZUKI Jun	電気工学／電子工学	機能を満たしたままコンパクトなデバイス及びシステムを製作する研究
助教 博士（工学）	張 暁 勇	ZHANG Xiaoyong	電気工学／電子工学	高精度・高速デジタル画像処理・認識に関する研究
助教 修士（体育学）	東 畑 陽 介	TOHATA Yosuke	その他	技能習得・動作改善のためのトレーニング法の開発

■名取キャンパス教員一覧 《職名毎、50音順》

職名・学位	氏 名		専門分野	研究テーマ
教授 博士（工学）	浅 田 格	ASADA Kaku	材料工学	コンバージミルによる金属粉末の微細化・複合化に関する研究
教授 文学修士	飯 田 清 志	IIDA Kiyoshi	社会学	大衆文化論
教授 博士（工学）	石 川 信 幸	ISHIKAWA Nobuyuki	化学工学	低密度エネルギーの回収・再生・変換
教授 博士（工学）	伊 藤 昌 彦	ITOH Masahiko	機械工学	歯車装置系の振動抑制制御
教授 工学博士	遠 藤 智 明	ENDO Tomoaki	有機化学	有機機能性材料の合成と評価
教授 工学博士	遠 藤 昇	ENDO Noburu	計算機科学	ソフトウェアルータを用いた初学者向けネットワーク学習システムの構築
教授 博士（工学）	大 町 方 子	OMACHI Masako	パターン認識	画像の高精度認識に関する研究
教授 修士（教育学）	岡 崎 久美子	OKAZAKI Kumiko	教育学	学生の英語力の向上を目指して
教授 博士（工学）	北 川 明 生	KITAKAWA Akio	化学工学	セルオートマトンモデルによる複雑流動の解析
教授 博士（情報科学）	北 島 宏 之	KITAJIMA Hiroyuki	計算機科学	高性能低消費電力を目指した計算機アーキテクチャ
教授 文学修士	窪 田 眞 治	KUBOTA Shinji	各国の文学	文学作品の中に存在する聖俗循環、同調圧力、象徴としての貨幣研究、及び入れ子構造の物語における情報の流れの方向性
教授 工学修士	熊 谷 晃 一	KUMAGAI Koichi	物性物理学	有機・無機形態機能材料の物性とその応用
教授 博士（工学）	小 林 仁	KOBAYASHI Hiroshi	建築学	現場における換気設備の開口特性の非接触型簡易測定の開発
教授 博士（工学）	今 野 一 弥	KONNO Kazuya	材料工学	シンクロLPSO型マグネシウム合金に関する研究
教授 博士（工学）	坂 口 大 洋	SAKAGUCHI Taiyou	建築計画	公共施設計画におけるサステナビリティ
教授 博士（工学）	相 模 誓 雄	SAGAMI Chikao	建築学	「近世期の御蔵所の空間構成原理及び地方性」★「歴史的建造物の保存・活用に関する研究調査」
教授 工学博士	櫻 庭 弘	SAKURABA Hiroshi	電気工学／電子工学	次世代を担う半導体デバイス・集積回路に関する研究
教授 博士（工学）	佐 藤 一 志	SATO Kazushi	力学	種々の材料の破壊解析・強度解析
教授 博士（工学）	佐 藤 友 章	SATO Tomoaki	化学工学	環境にやさしい粉づくりと評価
教授 修士（スポーツ科学）	柴 田 尚 都	SHIBATA Naoto	その他	ラグビーとラグビーを通した人間教育
教授 理学博士	鈴 木 勝 彦	SUZUKI Katsuhiko	機械工学	レーザー付着加工技術の開発
教授 学士（文学）	武 田 淳	TAKEDA Jun	教育学	動画教材を活用した反転学習の研究
嘱託教授 博士（工学）	舘 野 安 夫	TATENO Yasuo	磁性材料学	磁気記録工学
教授 修士（文学）	千 葉 幸一郎	CHIBA Koichiro	教育学	ブンガクを楽しむ、ブンガクで遊ぶ

職名・学位	氏 名		専門分野	研究テーマ
教授 理学修士	徳 能 康	TOKUNO Yasushi	代数学、整数論	高専における数学教育
教授 工学博士	中 村 富 雄	NAKAMURA Tomio	制御工学	予測制御系の設計に関する研究
教授 工学修士	野 角 光 治	NOGAKU Mitsuharu	半導体工学	光半導体の機能化に関する研究
教授 博士（工学）	飯 藤 将 之	HANDOU Masayuki	建築学	建築構造物の耐震性評価
嘱託教授 学士（教育学）	平 間 哲 雄	HIRAMA Tetsuo	スポーツ教育学、武道学	コンタクトスポーツにおける初心者者の安全指導、スポーツ指導者の倫理
教授 博士（工学）	本 郷 哲	HONGO Satoshi	音響工学	音響信号処理を用いた非破壊検査応用
教授 博士（工学）	山 田 洋	YAMADA Hiroshi	電気工学／電子工学	環境調和型電力・磁気応用システムの開発
教授 博士（工学）	若 生 一 広	WAKO Kazuhiro	電気工学／電子工学	光を応用した、新たな光学デバイス・光学システムの研究開発・実用化
准教授 博士（理学）	井 海 寿 俊	IKAI Hisatoshi	代数学	代数構造の基礎研究
准教授 博士（文学）	伊 師 華 江	ISHI Hanae	心理学	人間の感性情報処理?顔の認知過程に関する検討?
准教授 博士 （工学）	伊 東 航	ITO Wataru	材料工学	組織制御を用いた機能性金属材料の特性向上に関する研究
准教授 博士（学術）	葛 原 俊 介	KUZUHARA Shunsuke	材料工学	使用済みリチウムイオン二次電池の適正処理方法の確立と金属資源価値評価
准教授 博士（工学）	熊 谷 進	KUMAGAI Susumu	材料工学	各種構造材料の破壊と変形
准教授 博士（工学）	小地沢 将 之	KOCHIZAWA Masayuki	都市計画、まちづくり	生活拠点形成における住民参加のあり方
准教授 博士（工学）	権 代 由 範	GONDAI Yoshinori	建築学	寒冷地コンクリートの長寿命・高耐久化に関する研究
准教授 文学修士	佐 藤 和 彦	SATO Kazuhiko	心理言語学	言語モデル（脳と言語の関係）
准教授 博士（情報科学）	佐 藤 隆	SATO Takashi	電気工学／電子工学	横断歩道における視覚障害者の歩行支援
准教授 博士（工学）	佐 藤 拓	SATO Taku	電気工学／電子工学	高信頼性を有するワイヤレス給電
准教授 博士（工学）	佐 藤 徹 雄	SATO Tetsuo	有機化学	遷移金属錯体触媒を用いた新規有機合成反応の開発ならびに機能性有機材料の合成
准教授 博士（工学）	関 戸 大	SEKIDO Masaru	有機化学	フラーレン・カーボンナノチューブの表面修飾反応の開発
准教授 博士（工学）	高 橋 学	TAKAHASHI Manabu	機械工学	超音波を用いた製造プロセスモニタリング
准教授 博士（工学）	武 田 光 博	TAKEDA Mitsuhiro	材料工学	コンバージミルによる機能性材料の直接合成および微細組織観察
准教授 博士（理学）	谷 垣 美 保	TANIGAKI Miho	解析学	数学学習を通じた高専生の指導力の育成
准教授 博士（文学）	徳 竹 亜紀子	TOKUTAKE Akiko	歴史学	日本古代寺院造営事業の研究

職名・学位	氏 名		専門分野	研究テーマ
准教授 博士（理学）	永 弘 進一郎	NAGAIRO Shinichiro	力学	自由境界を持つ流れのシミュレーション技術
准教授 博士（理学）	中 山 まどか	NAKAYAMA Madoka	数学一般	バクテリアコロニー形成モデルの数理解析
准教授 博士（工学）	野 呂 秀 太	NORO Shuta	機械工学	境界層の受容性
准教授 博士（工学）	濱 西 伸 治	HAMANISHI Shinji	機械工学	聴覚のメカニクスを医療・スポーツ分野へ
准教授 博士（工学）	藤 田 智 己	FUJITA Tomomi	建築学	建築構造物の安全と機能維持を実現する耐震・免震・制振システムの開発
准教授 博士（工学）	古 瀬 則 夫	FURUSE Norio	電気工学／電子工学	歩行訓練補助システムの開発
准教授 博士（情報科学）	矢 入 聡	YAIRI Satoshi	音響工学	新しい音響通信システムの実現を目指して
准教授 修士（文学）	油 座 圭 祐	YUZA Keisuke	近代日本思想史	共同体論
准教授 博士（情報科学）	渡 辺 隆	WATANABE Takashi	機械工学	画像計測と検査
助教 博士（工学）	奥 村 真 彦	OKUMURA Masahiko	力学	力学的な物理現象の予測と評価
助教 博士（工学）	鈴 木 知 真	SUZUKI Kazuma	材料工学	人工筋肉アクチュエータ／酸窒化物硬質薄膜の微構造
助教 博士（学術）	塚 田 由佳里	TSUKADA Yukari	建築計画・生活科学	子どもの環境行動と放課後の居場所づくり
助教 修士（体育学）	古 内 孝 明	FURUUCHI Takaaki	体育科教育学、柔道、武道論	協同学習等の学習指導モデルの検証、柔道授業の教材開発、柔道コーチング
助教 博士（工学）	本 間 一 平	HONMA Ippei	流体工学、レオロジー	ソフトマターの降伏・流動特性の解明
助教 博士（工学）	松 原 正 樹	MATSUBARA Masaki	材料工学	新規有機無機ハイブリッドナノ材料の開発
助教 博士（経済学）	宮 崎 義 久	MIYAZAKI Yoshihisa	特別経済学	地域通貨を用いたコミュニティづくりと金融教育
助教 博士（工学）	森 真奈美	MORI Manami	材料工学	生体用Co-Cr合金の組織および機械的特性に関する研究
助教 博士（工学）	柳 生 穂 高	YAGYU Hotaka	物性物理学	新規超伝導物質の開発
助教 博士（工学）	吉 野 裕 貴	YOSHINO Yuki	建築学	自然災害における大空間構造物の座屈に対する保有性能評価

今日のように地球規模の環境破壊が急速に進み、社会の国際化がめざましい勢いで進展する中では、広い視野に立って人類共通の利益に奉仕できる技術者を育てることが重要です。そのために本校は技術者として必要な専門科目の教育はもとより、一般教養科目も重視し、力を入れて教育をしています。人文社会系科目に視聴覚教材を積極的に取り入れたり、理数系科目では実験実習を多く取り入れ、楽しく学びながら基礎的な力を養うことができるように工夫しています。



ICT機器を利用したアクティブラーニングの様子

■教育課程【一般科目 I 類】

情報システムコース、情報通信コース、知能エレクトロニクスコース

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	2	2					
	地理	2	2					
	現代社会	2	2					
	英語AⅠ	2	2					
	英語BⅠ	2	2					
	保健体育Ⅰ	3	3					
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	2	2					
	基礎数学C	2	2					
	化学Ⅰ	2	2					
	国語Ⅱ	2		2				
	世界史	2		2				
	英語AⅡ	2		2				
	英語BⅡ	2		2				
	保健体育Ⅱ	2		2				
	微分積分Ⅰ	4		4				
	代数幾何	2		2				
	物理Ⅰ	2		2				
	物理Ⅱ	2		2				
	化学Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			
	英語AⅢ	2			2			
	英語BⅢ	2			2			
	保健体育Ⅲ	2			2			
	微分積分Ⅱ	4			4			
	物理Ⅲ	2			2			
	小計	59	23	22	14	0	0	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	芸術	1	1					
	化学特論	2				2		
	国語Ⅳ	2				2		
	総合英語Ⅰ	2				2		
	総合英語Ⅱ	2				2		
	政治経済	2				2		
	法学憲法	2				2		
	人文科学	2				2		
	健康とスポーツ	1				1		
	総合英語Ⅲ	2					2	
	社会科学	2					2	
	生物学	2					2	
	地球科学	2					2	
	長期インターンシップA	4					4	
	総合科目A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小計	30以上	3以上	2以上	2以上	17以上	14以上	
開設単位数計		89以上	26以上	24以上	16以上	17以上	14以上	
特別活動		90時間	30時間	30時間	30時間	—	—	

■教育課程【一般科目 II・Ⅲ類】

ロボティクスコース、マテリアル環境コース、機械・エネルギーコース、建築デザインコース

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	2	2					
	地理	2	2					
	現代社会	2	2					
	英語AⅠ	2	2					
	英語BⅠ	2	2					
	保健体育Ⅰ	3	3					
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	2	2					
	化学Ⅰ	2	2					
	物理Ⅰ	2	2					
	国語Ⅱ	2		2				
	世界史	2		2				
	英語AⅡ	2		2				
	英語BⅡ	2		2				
	保健体育Ⅱ	2		2				
	基礎数学C	2		2				
	微分積分Ⅰ	4		4				
	代数幾何	2		2				
	化学Ⅱ	2		2				
	物理Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			
	英語AⅢ	2			2			
	英語BⅢ	2			2			
	保健体育Ⅲ	2			2			
	微分積分Ⅱ	4			4			
	物理Ⅲ	2			2			
	総合英語Ⅰ	2				2		
	総合英語Ⅱ	2				2		
	総合英語Ⅲ	2					2	
	生物学	2					2	
	地球科学	2					2	
	小計	69	23	22	14	4	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	芸術	1	1					
	化学特論	2				2		
	国語Ⅳ	2				2		
	政治経済	2				2		
	法学憲法	2				2		
	人文科学	2				2		
	健康とスポーツ	1				1		
	社会科学	2					2	
	長期インターンシップA	4					4	
	総合科目A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小計	20以上	3以上	2以上	2以上	13以上	8以上	
開設単位数計		89以上	26以上	24以上	16以上	17以上	14以上	
特別活動		90時間	30時間	30時間	30時間	—	—	



e-ラーニング室



物理の授業風景

I 類：情報システムコース

情報システムコースは、情報システムの視点に立った考え方や社会の中での役割を理解して、ソフトウェア技術を核に幅広い分野の人々と協力して社会の発展に貢献できる人材の育成を目指しています。このために、ソフトウェア制作に必要な知識、コンピュータの仕組みとコントロール手法、情報システムを構築して運用する技術、アプリケーションでネットワークを使う知識、コンピュータ同士をネットワークでつなぐ技術など、プログラミングの初歩からアプリケーション、人工知能、コンピュータサイエンスに至るまでソフトウェアに必要なことを幅広く学ぶことができます。

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	コンピュータリテラシ	2	2					
	プログラミング基礎	2		2				
	デジタル技術基礎	2		2				
	電気回路基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	確率・統計	1			1			
	プログラミング	2			2			
	応用プログラミング	2			2			
	ネットワーク基礎	2			2			
	コンピュータシステム基礎	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	回路実習基礎	2			2			
	第Ⅰ類基礎実験	4			4			
	線形代数	1				1		
	フーリエ解析	1				1		
	情報理論	2				2		
	ソフトウェア分析設計	2				2		
	ソフトウェア工学基礎	2				2		
	マルチメディア情報	2				2		
	ネットワーク理論	2				2		
	融合型PBL	2				2		
	第Ⅰ類実験Ⅰ	1				1		
	第Ⅰ類実験Ⅱ	2				2		
	情報社会学	2					2	
	卒業研究	12						12
	小 計	62	6	8	17	17	14	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	電気回路	2			2			
	複素関数	1				1		
	データ工学	1				1		
	ネットワーク工学技術	2				2		
	ネットワークプログラミング	2				2		
	情報セキュリティ	2				2		
	マイクロコンピュータ応用	2				2		
	電磁気学	2				2		
	電子回路	2				2		
	電子材料	2				2		
	電子デバイス	2				2		
	電子計測	2				2		
	電子機器設計基礎	1				1		
	制御工学	1				1		
	機構学	1				1		
	無線技術特論ⅠA[高周波回路]	2				2		
	無線技術特論ⅠB[電磁波工学Ⅰ]	2				2		
	無線技術特論ⅠC[電磁波工学Ⅱ]	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	数値解析	1					1	
	人工知能	2					2	
	オペレーティングシステム	1					1	
	分散コンピューティング	2					2	
	応用ネットワーク工学技術	1					1	
	コンピュータアーキテクチャ	1					1	
	光工学	1					1	
	メカトロニクス概論	1					1	
	ロボティクス	2					2	
	技術者倫理	2					2	
	無線技術特論ⅡA[通信計測]	2					2	
	無線技術特論ⅡB[無線通信システム]	2					2	
	無線技術特論ⅡC[通信法規]	2					2	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	59以上	2以上	2以上	4以上	32以上	27以上	

開設単位数計	121以上	8以上	10以上	21以上	49以上	41以上	
--------	-------	-----	------	------	------	------	--

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。



創造工学実習



プロジェクト実習

I 類：情報通信コース

インターネット、携帯電話、ディジタル放送など、今や情報通信ネットワークは社会にとって必要不可欠な基盤となっています。様々なシステムが相互に関連しあう一方、安定した運用が求められる情報基盤においては、通信・ネットワーク・コンピュータに関する幅広い知識と技術が求められます。情報通信コースでは、電気電子・通信、ネットワーク、計算機システム等の情報・電子系に必要なとされる基本的な知識の上に、主に通信とネットワークに関する技術を体系的に習得させることで、情報社会の発展とその基盤を担う人材を育成します。

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	コンピュータリテラシ	2	2					
	プログラミング基礎	2		2				
	ディジタル技術基礎	2		2				
	電気回路基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	確率・統計	1			1			
	プログラミング	2			2			
	応用プログラミング	2			2			
	ネットワーク基礎	2			2			
	コンピュータシステム基礎	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	回路実習基礎	2			2			
	第Ⅰ類基礎実験	4			4			
	線形代数	1				1		
	フーリエ解析	1				1		
	情報理論	2				2		
	ネットワーク理論	2				2		
	ネットワーク技術	2				2		
	ネットワークプログラミング	2				2		
	情報セキュリティ	2				2		
	融合型PBL	2				2		
	第Ⅰ類実験Ⅰ	1				1		
	第Ⅰ類実験Ⅱ	2				2		
	情報社会学	2					2	
	卒業研究	12						12
	小計	62	6	8	17	17	14	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	電気回路	2			2			
	複素関数	1				1		
	ソフトウェア分析設計	2				2		
	ソフトウェア工学基礎	2				2		
	マルチメディア情報	2				2		
	データ工学	1				1		
	マイクロコンピュータ応用	2				2		
	電磁気学	2				2		
	電子回路	2				2		
	電子材料	2				2		
	電子デバイス	2				2		
	電子計測	2				2		
	電子機器設計基礎	1				1		
	制御工学	1				1		
	機構学	1				1		
	無線技術特論ⅠA[高周波回路]	2				2		
	無線技術特論ⅠB[電磁波工学Ⅰ]	2				2		
	無線技術特論ⅠC[電磁波工学Ⅱ]	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	数値解析	1					1	
	人工知能	2					2	
	オペレーティングシステム	1					1	
	分散コンピューティング	2					2	
	応用ネットワーク技術	1					1	
	コンピュータアーキテクチャ	1					1	
	光工学	1					1	
	メカトロニクス概論	1					1	
	ロボティクス	2					2	
	技術者倫理	2					2	
	無線技術特論ⅡA[通信計測]	2					2	
	無線技術特論ⅡB[無線通信システム]	2					2	
	無線技術特論ⅡC[通信法規]	2					2	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小計	59以上	2以上	2以上	4以上	32以上	27以上	



TV電波測定



ネットワーク実習

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

I 類：知能エレクトロニクスコース

広瀬キャンパス

エレクトロニクス機器の中核となるハードウェア技術をベースとして、機器に知的で柔軟な機能を持たせるためのソフトウェアや、機器を外部のコンピュータとつないでシステム化することなども視野に入れたIoT時代に対応できる技術者の育成を目指しています。知能エレクトロニクスコースでは、電子回路や電磁気学のような基礎知識やマイクロコンピュータ技術やプログラミング技術などの基盤技術に加えて、電子デバイス・材料のようなエレクトロニクス、さらにロボティクスやネットワーク技術などについても幅広く学ぶことによって、色々な分野の人々と協力しながら創造的なものづくりに貢献する力を獲得できます。

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	コンピュータリテラシ	2	2					
	プログラミング基礎	2		2				
	デジタル技術基礎	2		2				
	電気回路基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	確率・統計	1			1			
	プログラミング	2			2			
	ネットワーク基礎	2			2			
	コンピュータシステム基礎	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	回路実習基礎	2			2			
	電気回路	2			2			
	第Ⅰ類基礎実験	4			4			
	線形代数	1				1		
	フーリエ解析	1				1		
	マイクロコンピュータ応用	2				2		
	電磁気学	2				2		
	電子回路	2				2		
	電子デバイス	2				2		
	電子計測	2				2		
	融合型PBL	2				2		
	第Ⅰ類実験Ⅰ	1				1		
	第Ⅰ類実験Ⅱ	2				2		
	情報社会学	2					2	
	卒業研究	12						12
	小計	62	6	8	17	17	14	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	応用プログラミング	2			2			
	複素関数	1				1		
	情報理論	2				2		
	ソフトウェア分析設計	2				2		
	ソフトウェア工学基礎	2				2		
	マルチメディア情報	2				2		
	データ工学	1				1		
	ネットワーク理論	2				2		
	ネットワーク技術	2				2		
	ネットワークプログラミング	2				2		
	情報セキュリティ	2				2		
	電子材料	2				2		
	電子機器設計基礎	1				1		
	制御工学	1				1		
	機構学	1				1		
	無線技術特論ⅠA[高周波回路]	2				2		
	無線技術特論ⅠB[電磁波工学Ⅰ]	2				2		
	無線技術特論ⅠC[電磁波工学Ⅱ]	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	数値解析	1					1	
	人工知能	2					2	
	オペレーティングシステム	1					1	
	分散コンピューティング	2					2	
	応用ネットワーク技術	1					1	
	コンピュータアーキテクチャ	1					1	
	光工学	1					1	
	メカトロニクス概論	1					1	
	ロボティクス	2					2	
	技術者倫理	2					2	
	無線技術特論ⅡA[通信計測]	2					2	
	無線技術特論ⅡB[無線通信システム]	2					2	
	無線技術特論ⅡC[通信法規]	2					2	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小計	59以上	2以上	2以上	4以上	32以上	27以上	



回路計製作の実習（総合工学基礎）



マイコンボードを用いた組み込みシステムに関する実習

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

Ⅱ 類：ロボティクスコース

ロボティクスコースでは、AIはもちろん、ロボットに関するテクノロジーを習得し、それを応用する実践的な経験を積むことができます。さらに従来の電気、機械、材料、ソフトウェアなどの分野にとらわれない総合的な視点と、ロボットの活躍する場面を想起し、使う人の気持ちを考えるために必要な人間性、そしてビジネスも含めたグローバルな感覚、プロジェクト活動やコンテストを通じた新しい学びの手法によって涵養します。



総合工学基礎（1年生）



ものづくり実習（2年生）

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	工学基礎実験Ⅰ	2	2					
	工学基礎実験Ⅱ	2		2				
	製図	2		2				
	電気回路Ⅰ	2		2				
	ものづくり実習	2		2				
	アナログ回路	2			2			
	プログラミングⅠ	1			1			
	材料力学Ⅰ	1			1			
	電気計測Ⅰ	1			1			
	電気回路Ⅱ	2			2			
	電磁気学Ⅰ	2			2			
	ロボット運動機構学Ⅰ	1			1			
	ロボティクス実験Ⅰ	2			2			
	ロボティクス演習Ⅰ	1			1			
	応用物理A	1				1		
	応用物理B	1				1		
	システム制御	2				2		
	総合セミナー	2				2		
	工業倫理	1				1		
	ロボット力学Ⅰ	1				1		
	ロボティクス実験Ⅱ	4				4		
	ロボティクス演習Ⅱ	1				1		
	熱流体力学	2					2	
	ロボティクス実験Ⅲ	4					4	
	卒業研究	12					12	
	小計	58	6	8	13	13	18	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	工業力学	1			1			
	デジタル回路	2			2			
	プログラミングⅡ	1			1			
	ロボット運動機構学Ⅱ	1			1			
	電気計測Ⅱ	2			2			
	数値計算法	1			1			
	解析学	2				2		
	応用数学	2				2		
	テクニカルライティング	1				1		
	ロボット力学Ⅱ	1				1		
	材料力学Ⅱ	1				1		
	材料力学Ⅲ	2				2		
	電気回路Ⅲ	2				2		
	電磁気学Ⅱ	2				2		
	計算機工学	1				1		
	応用情報工学	2				2		
	メカトロニクス	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	協学実習	1				1	1	
	経営工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	機能材料	2					2	
	ロボット工学	1					1	
	知能機械工学	1					1	
	デジタル信号処理	1					1	
	パワーエレクトロニクス	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小計	44以上	2以上	2以上	10以上	22以上	17以上	

開設単位数計 102以上 8以上 10以上 23以上 35以上 35以上

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

Ⅱ 類：マテリアル環境コース

環境と調和した循環型社会の実現には、すべての製品のもとであるマテリアルの高性能化と環境リスク低減が強く望まれています。マテリアル環境工コースでは、金属、無機、有機などマテリアルの幅広い専門知識と作製・評価技術、並びに地球環境の基礎概念と環境分析について、授業と実験がリンクした総合的な教育を実施します。研究活動やディスカッションを通して創造性や問題解決能力を高め、環境維持と社会発展の両立に貢献できるマテリアル総合エンジニアを育成します。

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	工学基礎実験Ⅰ	2	2					
	工学基礎実験Ⅱ	2		2				
	製図	2		2				
	電気回路Ⅰ	2		2				
	ものづくり実習	2		2				
	プログラミングⅠ	1			1			
	プログラミングⅡ	1			1			
	基礎材料学	1			1			
	材料力学Ⅰ	1			1			
	材料組織学Ⅰ	1			1			
	有機化学Ⅰ	1			1			
	基礎生物	1			1			
	材料物性Ⅰ	1			1			
	材料物性Ⅱ	1			1			
	マテリアル工学実験Ⅰ	4			4			
	応用物理A	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	工業倫理	1				1		
	構成材料Ⅰ	2				2		
	材料力学Ⅱ	1				1		
	材料組織学Ⅱ	1				1		
	材料物性Ⅲ	2				2		
	物理化学Ⅰ	2				2		
	機器分析	2				2		
	マテリアル工学実験Ⅱ	4				4		
	環境工学	1					1	
	卒業研究	12					12	
	小計	58	6	8	13	18	13	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	工業力学	1			1			
	電磁気学Ⅰ	2			2			
	応用物理B	1				1		
	解析学	2				2		
	応用数学	2				2		
	テクニカルライティング	1				1		
	材料力学Ⅲ	2				2		
	物理化学Ⅱ	2				2		
	有機化学Ⅱ	2				2		
	基礎生物化学	2				2		
	環境分析実験	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	協学実習	1				1	1	
	経営工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	機能材料	2					2	
	加工プロセス工学	2					2	
	化学プロセス工学	2					2	
	電気化学	2					2	
	セラミックス材料	2					2	
	構成材料Ⅱ	2					2	
	システム制御	2					2	
	有機材料	2					2	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小計	46以上	2以上	2以上	5以上	20以上	26以上	

開設単位数計	104以上	8以上	10以上	18以上	38以上	39以上	
--------	-------	-----	------	------	------	------	--

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。



走査電子顕微鏡による組織観察



マテリアル工学実験

Ⅱ 類：機械・エネルギーコース

名取キャンパス

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	工学基礎実験Ⅰ	2	2					
	工学基礎実験Ⅱ	2		2				
	製図	2		2				
	電気回路Ⅰ	2		2				
	ものづくり実習	2		2				
	工業力学	1			1			
	プログラミングⅠ	1			1			
	プログラミングⅡ	1			1			
	電気回路Ⅱ	2			2			
	材料力学Ⅰ	1			1			
	設計製図Ⅰ	2			2			
	設計製図Ⅱ	2			2			
	機械工作法Ⅰ	1			1			
	工作実習	3			3			
	応用物理A	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	工業倫理	1				1		
	工学実験Ⅰ	2				2		
	工学実験Ⅱ	2				2		
	電気機器Ⅰ	1				1		
	計測基礎	1				1		
	流体力学A	2				2		
	熱力学A	2				2		
	工学実験Ⅲ	2					2	
	工学実験Ⅳ	2					2	
	卒業研究	12						12
	小計	58	6	8	14	14	16	

将来に向けて社会が継続的に発展するために、様々な科学技術を融合的に応用しながら新しい価値を創出していくことが求められています。機械・エネルギーコースは、次世代のものづくりと社会システムの創造に寄与する技術の担い手として、社会生活を支えるエネルギー技術を主体とする機械系力学、電気電子工学、工業材料等の分野の講義や実験・実習による学修を通して、社会生活に関する基盤技術や要素技術、工学に関する幅広い知識と実践的・創造的な能力を身に付けた技術者を育成します。



高電圧実験



スターリングエンジン設計・製作

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	電磁気学Ⅰ	2			2			
	機構学	1			1			
	材料物性Ⅰ	1			1			
	材料物性Ⅱ	1			1			
	応用物理B	1				1		
	解析学	2				2		
	応用数学	2				2		
	テクニカルライティング	1				1		
	材料力学Ⅱ	1				1		
	材料力学Ⅲ	2				2		
	機械工作法Ⅱ	1				1		
	機械工作法Ⅲ	1				1		
	電気回路Ⅲ	2				2		
	電磁気学Ⅱ	2				2		
	材料物性Ⅲ	2				2		
	計測工学	1				1		
	流体力学B	2				2		
	熱力学B	2				2		
	機械力学	1				1		
	設計製図Ⅲ	2				2		
	電気機器Ⅱ	1				1		
	電力工学	2				2		
	設計製図Ⅳ	2				2		
	インターンシップ	1~2				1~2		
	協学実習	1				1	1	
	経営工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	機能材料	2					2	
	電気法規施設管理	1					1	
	システム工学	1					1	
	半導体工学	2					2	
	化学工学概論	1					1	
	有機・無機材料	1					1	
	流体工学	1					1	
	エネルギー変換工学	1					1	
	材料強度学	1					1	
	生体機械工学	1					1	
	設計製図Ⅴ	2					2	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小計	61以上	2以上	2以上	7以上	34以上	25以上	

開設単位数計	119以上	8以上	10以上	21以上	48以上	41以上	
--------	-------	-----	------	------	------	------	--

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

Ⅲ類：建築デザインコース

名取キャンパス

人類はこれまで、生活や社会の「器」として様々な建築をデザインしてきました。そして、これからは歴史に学び、社会との関係から建築を考え、持続可能な社会と環境を、継承し、創造していかなければなりません。

建築デザインコースでは、低学年から基礎的科目を学び、段階的に専門科目、設計製図や実験・実習、卒業研究など実践的学習に重点を置き、建築に関する基礎知識と専門的技術を習得します。さらに、様々な科目、教員との対話、フィールドワークなどを通して、人間性豊かな教養と芸術的感性、そして社会的センスを身に付け、豊かな住空間や社会環境の創造に携わる実践的技術者を育成します。

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	空間デザイン概論A	1	1					
	空間デザイン概論B	1	1					
	ものづくり実習	2		2				
	建築設計製図Ⅰ	2		2				
	建築構造概論	1		1				
	グラフィックデザイン	1		1				
	構造力学概論	1		1				
	プロジェクト実習Ⅰ(計画)	1		1				}いずれかの科目を選択すること
	プロジェクト実習Ⅰ(構造)	1		1				
	建築設計製図Ⅱ	2			2			
	建築デザイン演習A	2			2			
	建築計画	2			2			
	建築史	2			2			
	人間工学	2			2			
	建築環境工学Ⅰ	2			2			
	建築構造力学Ⅰ	2			2			
	建築材料学Ⅰ	1			1			
	フィールドワーク	1			1			
	応用物理A	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	工業倫理	1				1		
	建築設計製図Ⅲ	2				2		
	建築デザイン演習B	2				2		
	住居計画	2				2		
	都市計画	2				2		
	設備工学Ⅰ	2				2		
	建築構造学Ⅰ	2				2		
	建築構造力学Ⅱ	2				2		
	建築材料学Ⅱ	2				2		
	建築工学実験	4				4		
	測量・測量実習	2					2	
	建築法規	2					2	
	建築施工	2					2	
	プロジェクト実習Ⅱ(計画)	1					1	}いずれかの科目を選択すること
	プロジェクト実習Ⅱ(構造)	1					1	
	卒業研究	12						12
	小計	75	6	9	16	24	20	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	地球科学A	1				1		
	地球科学B	1				1		
	応用物理B	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	建築環境工学Ⅱ	2				2		
	建築構造学Ⅱ	2				2		
	建築構造力学Ⅲ	2				2		
	インターンシップ	1~2				1~2		
	協学実習	1				1	1	
	経営工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	都市デザイン演習	2					2	
	設備工学Ⅱ	2					2	
	建築構造力学Ⅳ	2					2	
	建築設計製図Ⅳ	2					2	
	認知科学演習	2					2	
	環境デザイン演習	2					2	
	構造デザイン演習	2					2	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小計	36以上	2以上	2以上	2以上	14以上	25以上	
開設単位数計		111以上	8以上	11以上	18以上	38以上	45以上	

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。



模型制作の授業



設計製図講評会

I～Ⅲ類共通：応用科学コース

広瀬キャンパス

名取キャンパス

応用科学コースでは、自然科学的方法論を核として情報・電気電子・機械・材料の知識と技術を身に付けさせ、工学との複眼的視点から社会に貢献できる科学技術者を養成します。

高専にあっては他にはない非常に特徴的なコースですが、国公立大学工学部では、物理工学科や応用物理学科などの名称で理学と工学の分野横断型コースが設定されていることが多いです。変化の激しい科学技術社会や国際競争に立ち向かうために揺るぎのない基礎知識を身に付けることはいずれの分野でも重要視されており、基礎科学が好きで地道な努力を惜しまない学生の参画を歓迎します。本コースには、他コースから4年次に転コース制によって配属されます。定員は最大10名で、少人数精鋭教育を行います。本コースに配属した学生達は、解析力学・流体力学・相対性理論・量子力学・熱統計力学・固体物性論の物理系基盤科目、及びそれらと工学諸領域との融合科目を体系的に学修します。それにより、出身コースに基づく工学的基礎技術を持ちながら、理学的素養も併せ持った複合的視点を展開でき、複雑化する社会で柔軟かつ新規な概念・成果を創出できる実践的・創造的技術者の養成を実現します。

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	情報システムコース 情報通信コース 知能エレクトロニクスコース ロボティクスコース マテリアル環境コース 機械・エネルギーコース 建築デザインコース 上記各コース1～3年次開講科目							
	応用解析A	2				2		
	応用解析B	2					2	
	解析力学	2				2		
	解析力学演習	2				2		
	連続体力学A	2				2		
	連続体力学B	2					2	
	相対性理論	2					2	
	量子力学Ⅰ	2				2		
	量子力学Ⅱ	2					2	
	量子力学演習	2				2		
	熱統計力学Ⅰ	2				2		
	熱統計力学Ⅱ	2				2		
	熱統計力学演習	2				2		
	固体物性論Ⅰ	2				2		
	固体物性論Ⅱ	2					2	
	固体物性論演習	2				2		
	材料科学特論	4				4		
	統計物理学特論	4				4		
	量子情報理論	4				4		
	情報統計力学	4				4		
	力学系・カオス	4				4		
	高分子科学	4				4		
	生体工学	4				4		
	卒業研究	12					12	
	小計	72				50	22	

9科目以上選択必修

2科目選択必修

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	情報システムコース 情報通信コース 知能エレクトロニクスコース ロボティクスコース マテリアル環境コース 機械・エネルギーコース 建築デザインコース 上記各コース4～5年次開講科目							
	インターンシップ	1～2				1～2		
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上				1以上	1以上	
	特別学修B	1以上				1以上	1以上	
	小計	64以上	2以上	2以上	10以上	34以上	25以上	

開設単位数計	119以上	8以上	10以上	21以上	48以上	41以上	
--------	-------	-----	------	------	------	------	--

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

情報電子システム工学専攻

最先端の情報電子社会を支える技術者には、社会の問題を国際的視野で考察し、高度な情報電子技術を駆使して問題解決する能力が求められます。情報電子システム工学専攻では、企業や学術交流協定を結んでいる海外の諸大学と強力に連携したカリキュラムにより、幅広い教養と情報・電子及び関連分野の高度な専門知識、さらには実践的コミュニケーション能力と国際的視野を養成します。専攻修了後は、国際社会における長期的キャリアを展望できる技術者や研究者への道が開かれます。



産学連携シンポジウムでの発表



PBL形式による実践的授業



海外提携校教員による講義

■教育課程【一般科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻英語Ⅰ	2	2		
	専攻英語Ⅱ	2		2	
	思想史	2		2	
	社会経済学	2	2		
	小 計	8	4	4	
選択科目	線形代数学	2	2		
	工学数学	2	2		
	科学史	2	2		
	バイオテクノロジー	2	2		
	企業社会学	2	2		
	国際文化特論	1～2	1～2		
	小 計	11～12	11～12	0	
開設単位数計		19～20	15～16	4	10単位以上修得すること。

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻実験・演習Ⅰ	6	6		
	専攻実験・演習Ⅱ	6		6	
	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	エレクトロニクス論	2	2		
	知能ロボティクス論	2	2		
	コミュニケーション論	2	2		
	ソフトウェア論	2	2		
	情報社会学特論	2	2		
	組込みシステム設計	2	2		
	データ解析	2	2		
	デジタル信号処理	2	2		
	小 計	42	28	14	
選択科目	専攻特別講義Ⅰ	1	1		
	専攻特別講義Ⅱ	1		1	
	専攻実習	6	6		
	物理化学	2	2		
	情報論理学	2	2		
	応用数学特論	2	2		
	情報数学特論	2		2	
	物質の構造と性質	2		2	
	エネルギー変換論	2	2		
	電子回路設計	2	2		
	パワーエレクトロニクス	2		2	
	応用電磁気学	2	2		
	波動伝送工学	2		2	
	信頼性工学	2		2	
	デバイス工学	2		2	
	ネットワーク基礎論Ⅰ	2	2		
	ネットワーク基礎論Ⅱ	2	2		
	計算機アーキテクチャ	2		2	
	ソフトウェア工学	2		2	
	アルゴリズムとデータ構造	2		2	
	知識工学	2		2	
	認識工学	2		2	
	画像処理論	2	2		
	インターネットアーキテクチャ	2		2	
	科学技術特論	1～2	1～2		
	インターンシップA	3～6	3～6		
	インターンシップB	7～12	7～12		
	小 計	61～70	36～45	25	
開設単位数計		103～112	64～73	39	

一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目10単位以上、専門科目52単位以上を修得する。

生産システムデザイン工学専攻

準学士課程で培った工学的素養の上に高度な専門技術を学ぶとともに、横断的な工学知識・技術を学習し、複合領域への対応能力を身に付けます。さらに、産業・地域社会、海外の教育機関と連携した長期（3ヶ月）に渡るインターンシップや実践的な創造工学演習により、高度な技術者に必要なコンピテンシーを身に付けます。こうして、ものづくり過程の全体を見渡し技術の目利きをすることができる、未来のものづくり分野を牽引する技術者を養成します。



専攻科研究棟



海外インターンシップ



専攻研究中間発表ポスターセッション

■教育課程【一般科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	英語Ⅰ	2	2		
	英語Ⅱ	2		2	
	小 計	4	2	2	
選択科目	日本語表現	2	2		
	歴史と文化	2	2		
	健康と科学	2	2		
	線形代数学	2	2		
	確率統計概論	2	2		
	小 計	10	10	0	
開設単位数計		14	12	2	8単位以上修得すること。

教育課程【専門科目】 生産システム工学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小 計	23	15	8	
選択科目	地球環境と都市	2	2		
	安全と省エネルギー	2		2	
	環境化学概論	2	2		
	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	専攻実習	2	2		
	弾塑性力学	2		2	
	生体工学	2		2	
	組織制御学	2	2		
	ナノテクノロジー	2	2		
	固体の力学	2	2		
	材料システム学	2	2		
	物質化学	2		2	
	流れ学	2	2		
	伝熱論	2	2		
	システム制御工学	2		2	
	固体物性工学	2	2		
	物質評価学	2		2	
	電子機能デバイス	2		2	
	応用材料加工学	2		2	
	プラズマ応用工学	2		2	
	応用電子計測	2	2		
	情報工学特論	2	2		
	応用信号処理論	2	2		
	画像処理工学	2		2	
	情報ネットワーク特論	2	2		
	オペレーティングシステム	2	2		
	応用光学	2	2		
	知能情報システム論	2	2		
	インターンシップA	2～4	2～4		
	インターンシップB	5～12	5～12		
	エンジニアリング実習	2～4	2～4		
	小 計	71～82	47～58	24	

開設単位数計	94～105	62～73	32	
--------	--------	-------	----	--

一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上を修得する。

教育課程【専門科目】 建築デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小 計	23	15	8	
選択科目	地球環境と都市	2	2		
	安全と省エネルギー	2		2	
	環境化学概論	2	2		
	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	専攻実習	2	2		
	建築設計製図	2	2		
	地域デザイン論	2	2		
	地域・都市計画	2	2		
	感性デザイン	2	2		
	芸術とデザイン	2	2		
	環境物理	2	2		
	構造動力学	2	2		
	材料設計法	2	2		
	建築史特論	2		2	
	施設計画論	2	2		
	色彩工学	2		2	
	測色計算実習	2		2	
	環境システムシミュレーション	2		2	
	構造デザイン	2		2	
	建築生産	2	2		
	インターンシップA	2～4	2～4		
	インターンシップB	5～12	5～12		
	エンジニアリング実習	2～4	2～4		
	小 計	55～66	39～50	16	
開設単位数計		78～89	54～65	24	

一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上を修得する。

現行学科紹介

■広瀬キャンパス

知能エレクトロニクス工学科

エレクトロニクス技術を駆使した様々な機器・システムの知能化を通して、地球の環境保全、人類の福祉や安全な社会の実現が求められています。その土台となる新しいエレクトロニクス機器・デバイスやその応用技術の開発ができる創造的な技術者を養成する学科です。電子回路のようなエレクトロニクス技術の基礎から、マイクロコンピュータ技術やプログラミング技術、さらには様々な電子デバイス・材料からレーザやロボティクスといった応用技術まで、実験・実習を重視して幅広く学修できることが特徴です。

情報システム工学科

ソフトウェアを中心とした情報システムの基礎から応用まで、総合的な知識と技術を備えた人材の育成を目指しています。コンピュータの仕組み、プログラミング、Web、インターネットなど、世界で活躍できるシステムエンジニアに必要な技術について体系的に学ぶことができます。

情報処理技術者試験、ネットワーク技術者認定など、情報系技術者にとって重要な資格の取得も目標とします。

情報ネットワーク工学科

インターネット、携帯電話、デジタル放送など、今や情報ネットワークやコミュニケーションシステムは社会にとって必要不可欠な基盤となっています。様々なシステムが相互に関連しあう一方、安定した運用が求められる情報基盤においては、通信・ネットワーク・コンピュータに関する幅広い知識と技術が求められます。情報ネットワーク工学科では、電気通信の基礎からインターネットワーキング、ネットワークを利用した情報システムまでをバランスよく系統的かつ実践的に教授することで、情報化社会の発展とその基盤を担う人材を育成します。

■名取キャンパス

機械システム工学科

ものづくりに必要な「考える力」と「実現する力」を身に付けます。ものづくり技術では、生産性や経済性だけでなく、安全性や機能性についての配慮など、複合的観点からの改善や向上が必要とされています。機械システム工学科では、新時代のものをつくる技術者、すなわち、融合技術に対応できる技術的・学問的素養を持ち、科学技術が社会環境に及ぼす影響や技術者の責任を念頭において製品開発ができる人間性豊かな技術者の育成を目指しています。

電気システム工学科

未来に向けて人々の生活を生き生きとしたものにするためには、互いのコミュニケーションを円滑にする技術やエネルギーを安定的に供給する技術、さらには福祉に係わる技術など、生活の質の向上につながる電気の様々な技術の発展が必要です。電気システム工学科では、講義と演習と実験を有機的に結びつけて構成した教育プログラムのもと、基礎から応用への幅広い知識と技術を確実に身に付けた、真に総合的に人々の生活を豊かにする技術者の育成を目指しています。

マテリアル環境工学科

環境と調和した循環型社会の実現には、すべての製品のもとであるマテリアルの高性能化と環境リスク低減が強く望まれています。マテリアル環境工学科では、金属、無機、有機などマテリアルの幅広い専門知識と作製・評価技術、並びに地球環境の基礎概念と環境分析について、授業と実験がリンクした総合的な教育を実施します。研究活動やディスカッションを通して創造性や問題解決能力を高め、環境維持と社会発展の両立に貢献できるマテリアル総合エンジニアを育成します。

建築デザイン学科

人類は様々な建築をデザインし、創ってきました。これから我々は持続可能な社会と環境を継承していかなければなりません。

建築デザイン学科では、低学年から基礎的科目を学び、段階的に設計製図や実験・実習、卒業研究など実践的学習に重点を置き、建築に関する基礎知識と基礎技術を身に付けた学生を育てます。さらに、人間性豊かな教養と芸術的感性を養い、デザインの基礎的素養を身に付け、質の高い住空間、社会環境の創造に携わる公平公正な実践的技術者を育成します。

教育改革推進センター

教育改革を推進し、教育内容の改善並びに質の向上を目的に、5つの室を設置し、専門教育・キャリア教育・人文社会・一般数理・国際性などの全人教育をサポートします。

■リベラルアーツ教育推進室

人文社会、一般数理からなる人生を豊かにするリベラルアーツ教育に関する教育システムを運営するとともに、社会人基礎力の獲得と科目間連携の推進による高専ならではの学術的リベラルアーツ教育の充実と質の向上を目指し、教育改革を推進します。

■次世代型教育推進室

すべての学生のより深い学びを実現するために、新しい教育方法を取り入れ教育改革を推進します。そのために必要となる教員の教育能力の開発、授業カリキュラムの開発、教育インフラの整備など幅広い活動を行います。また、本校での次世代型教育の推進について情報発信を行い、全国高専の教育改革に貢献します。

■キャリア教育推進室

低学年からのキャリア教育を実施し、学生のより良いキャリア形成を推進します。また、インターンシップや就職支援などの具体的なキャリア支援を行います。

■ジュニアドクター育成推進室

科学技術イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて、理数・情報分野の学習等を通じて、高い意欲や突出した能力を有する小・中学生を発掘し、さらに能力を伸長する体系的育成プランを開発・実践します。

■グローバル教育推進室

国際的に通用する人間性豊かな人材の養成という観点から、教育方法及び教育内容の改善並びに教育の質の向上等の教育改革を推進します。



協学実習：下級生指導を通じたリーダーシップ、コミュニケーション能力育成（次世代型教育推進室）



キャリア支援講習会（キャリア教育推進室）

研究戦略企画センター

平成29年度に、仙台高専が総合工学科1学科3類8コースのコース制を導入したのを機会に、研究・産学連携の拠点として、研究戦略企画センターが設置されました。研究戦略企画センターは、従来の研究推進センターを基礎に、発展的に新しい組織として発足しました。

研究戦略企画センターは、学内の研究を統括する研究推進室と、地域と連携するための地域連携推進室で構成されています。

研究推進室は、研究の更なる活性化のために、教員で組織した研究グループ化を中心に研究を推進する組織です。

また、現在では仙台高専産学連携振興会という企業協力会を中心に、地域企業の方々、国の機関、地方自治体の支援を受けながら、これら実社会で活躍される方々に、直接本校の学生をご指導いただく機会も増えてきました。このため、地域との連携を強化し地方創生に貢献できるように、地域連携推進室が立ち上がりました。具体的な活動としては、専攻科生を対象とした課題解決型インターンシップ、東北地区6高専専攻科産学連携シンポジウム、地域企業理解促進事業などの催しを行っています。

学生、教員、事務職員が一丸となってこれらの活動を上げるとともに、地域の方々との連携を強め、地域の発展に貢献できる組織として機能するよう努めていきます。



研究戦略企画センター（広瀬キャンパス）



研究戦略企画センター（名取キャンパス）

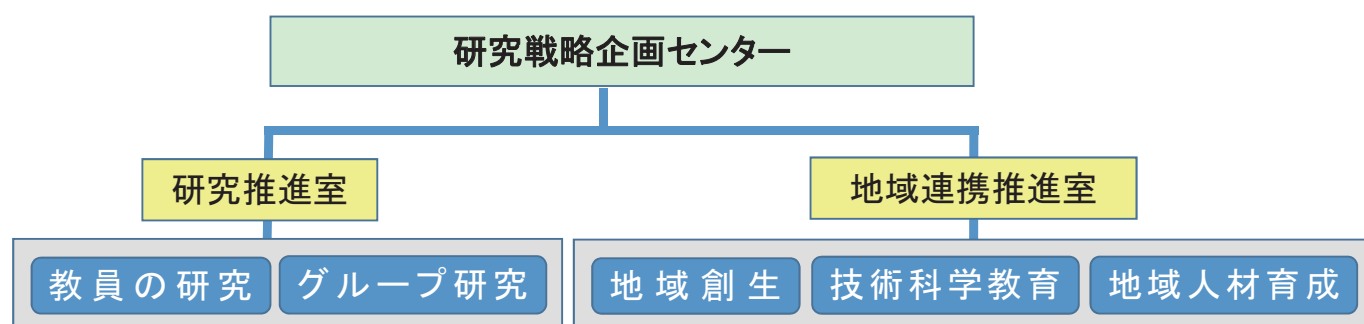


課題解決型インターンシップのための企業説明会



地域企業を理解するための見学ツアー

■研究戦略企画センターと地域連携





産学連携振興会役員会



産学連携振興会総会交流会



東北地区高専専攻科産学連携シンポジウム



産学官交流技術フォーラム：教員の研究発表

産学連携振興会会員企業一覧

- | | | | |
|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■株式会社アースクリーン東北 ■株式会社アイエスピー東北 ■株式会社 I F G ■アイシン・コムクルーズ株式会社 盛岡開発センター ■株式会社設計エンジニアリング ■株式会社アイティ経営コンサルティング ■アイリスオーヤマ株式会社 ■株式会社アクトジャパン ■株式会社アステム ■有限会社熱海防水 ■アルプス電気株式会社古川工場 ■イーストライズ株式会社 ■株式会社石巻水産鉄工 ■岩機ダイカスト工業株式会社 ■株式会社岩沼精工 ■インクレイブR&D株式会社 ■株式会社S R A 東北 ■株式会社S J C ■NECネットイノベーション株式会社 ■株式会社NTKセラテック ■株式会社エフアイティフロンティア ■株式会社エムジー ■株式会社エンジニア・サイエンス ■有限会社大友製作所 ■株式会社オーパス ■開発電子技術株式会社 東北営業所 ■有限会社カツヨテクノロ ■株式会社亀山鉄工所 ■株式会社環境技術ソリューション ■北日本電線株式会社 ■京セラコミュニケーションシステム株式会社 ■株式会社協和エクシオ東北支店 ■株式会社桐井製作所 ■金属検査株式会社 ■株式会社櫛引工業 | <ul style="list-style-type: none"> ■工藤電機株式会社 ■株式会社倉元マシナリー ■株式会社クレハいわき事業所 ■株式会社グリーンハウザー ■株式会社K S F ■ケミコン宮城株式会社 ■株式会社ケーヒン ■小糸樹脂株式会社 ■産電工業株式会社 ■C O M 電子開発株式会社 ■株式会社五洋電子仙台工場 ■コンピューターシステム開発株式会社 ■産電工業株式会社 ■株式会社さんのう ■株式会社C & A ■株式会社ジー・イー・エス ■株式会社システムレーテ 仙台開発センター ■株式会社システムリンクージ ■株式会社情通 ■株式会社荘内銀行 ■情報制御システム株式会社 ■新東北化学工業株式会社 ■シンワ電装株式会社 ■株式会社スクリブル・デザイン ■シミダ電機株式会社 ■積水化学工業株式会社 ■千代クレーンメンテナンス株式会社 ■仙台商工会議所 ■株式会社仙台ニコン ■株式会社仙台放送 ■N P O 法人仙南広域工業会 ■創造技研株式会社 ■ソニー株式会社 仙台テクノロジーセンター ■太白行政事務所 ■株式会社竹中工務店 東北支店 | <ul style="list-style-type: none"> ■株式会社中央製作所 ■通研電気工業株式会社 ■株式会社ティー・エス・シー ■株式会社T T K ■株式会社ティ・ディ・シー ■デクセリアルズ株式会社 ■電源開発株式会社 ■東地域流通システムセンター仙台流通事業所 ■株式会社デンロコーポレーション東北工場 ■東京エレクトロン宮城株式会社 ■株式会社東京ダイヤモンド工具製作所 仙台工場 ■東新工業株式会社 ■東社シーテック株式会社 ■東北インフォメーション・システムズ株式会社 ■東北計器工業株式会社 ■東北三和銅器株式会社 ■東北セラミック株式会社 ■東北電子産業株式会社 ■東北電力株式会社宮城支店 ■東北特殊鋼株式会社 ■東北プレス工業株式会社 ■東北マイクロテック株式会社 ■東洋刃物株式会社 ■トーカドエナジー株式会社製造統括部 ■株式会社トーキン ■土木地質株式会社 ■トヨタ自動車東日本株式会社 ■一般社団法人名取市観光物産協会 ■株式会社ナナイロ ■日進工業株式会社 ■株式会社日進サイエンティア ■日東電工株式会社関東事業所 ■株式会社ニノテック ■日本ナショナルインスツルメンツ株式会社 ■バイオナシステムテクノロジー株式会社 | <ul style="list-style-type: none"> ■バイスリープロジェクト株式会社 ■有限会社橋本工務店 ■浜松ホトニクス株式会社仙台営業所 ■株式会社原田伸銅所 ■株式会社ビーエーシー 仙台支所 ■P F U 東日本株式会社 ■引地精工株式会社 ■株式会社ビッツ ■ファインシンター東北株式会社 ■株式会社深松組 ■プラスエンジニアリング株式会社 ■古川電気工業株式会社 ■株式会社プロトソリューション ■株式会社真壁技研 ■マクセル情報テック株式会社宮城事業所 ■株式会社馬淵工業所 ■一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 ■一般社団法人みやぎ工業会 ■株式会社ミヤツウ ■株式会社ミライト ■株式会社メニコン ■メルコジャパン株式会社 ■株式会社メンバーズ ■モービルジャパン株式会社 ■山勝電子工業株式会社 ■ヤマセ電気株式会社 ■株式会社やまや ■株式会社ユーメディア ■株式会社ユニソク ■株式会社リードテック ■リコーインダストリー株式会社 ■凌和電子株式会社 ■株式会社Y C C 情報システム |
|---|--|---|---|

ほか 13社
(平成30年9月1日現在)

図書館

平成30年9月1日現在

図書館は学習と情報提供の中心的役割を果たしています。工学系専門書や、小説・実用書・各種雑誌が並び、学生によく利用されています。図書館の蔵書はWeb上で検索することができ、本校にない資料についても学外から取り寄せることができます。

さらに、本校の教職員・学生のみならず、地域の方々にも開放しています。



蔵書検索サイト

■広瀬キャンパス図書館 蔵書数

区分	種別	図書冊数			
		和漢書(冊)	洋書(冊)	総計(冊)	分類別比率(%)
総記		7,058	110	7,168	11.4
哲学		2,210	47	2,257	3.6
歴史		3,931	72	4,003	6.4
社会科学		5,011	63	5,074	8.1
自然科学		10,905	569	11,474	18.3
工学		10,456	501	10,957	17.4
産業		977	12	989	1.6
芸術		2,664	49	2,713	4.3
言語		1,977	450	2,427	3.9
文学		11,692	198	11,890	18.9
その他		287	3,593	3,880	6.2
計		57,168	5,664	62,832	100

■平成29年度利用状況

学生		1日平均
貸出者数	3,810人	16.1人
貸出冊数	6,520冊	27.5冊
教職員		1日平均
貸出者数	335人	1.4人
貸出冊数	1,193冊	5.0冊
入館者数	総学生数	開館日数
31,325人 (1日平均132.2人)	664人 (年間1人5.7回、9.8冊)	237日 (月平均19.8日)

■名取キャンパス図書館 蔵書数

区分	種別	図書冊数			
		和漢書(冊)	洋書(冊)	総計(冊)	分類別比率(%)
総記		2,909	268	3,177	3.7
哲学		3,583	379	3,962	4.6
歴史		4,978	174	5,152	6.0
社会科学		7,814	313	8,127	9.4
自然科学		13,061	1,353	14,414	16.7
工学		19,071	1,064	20,135	23.4
産業		986	9	995	1.2
芸術		4,969	164	5,133	6.0
言語		3,610	1,747	5,357	6.2
文学		11,297	922	12,219	14.2
その他		7,452	6	7,458	8.7
計		79,730	6,399	86,129	100

■平成29年度利用状況

学生		1日平均
貸出者数	2,309人	9.7人
貸出冊数	4,706冊	19.8冊
教職員		1日平均
貸出者数	229人	1.0人
貸出冊数	575冊	2.4冊
入館者数	総学生数	開館日数
32,405人 (1日平均136.2人)	941人 (年間1人2.5回、5.0冊)	238日 (月平均19.8日)



開架書庫 (名取)



閲覧室 (広瀬)



閲覧室(名取)

情報基盤センター

広瀬キャンパス

情報基盤センターは、キャンパス内のキャンパスネットワーク及び教育用コンピュータシステムの運用管理、学内の情報基盤に関する技術支援を主な業務としています。

広瀬キャンパス内には1,000台を超えるコンピュータが設置されており、それらがキャンパスネットワークに接続されています。キャンパスネットワークやインターネットを快適かつ安全・安心して利用できるようにするため、統合認証システム、Web プロキシ、コンテンツフィルタ、アンチウィルス、ファイアウォールなどの装置類を配備し、Webや電子メールのサービスを提供しています。

教育用コンピュータシステムはキャンパス内4か所に分散設置されており、それぞれ50人程度のユーザが同時に利用できる環境となっています。いずれもパソコンをベースとしたシステムですが、2セットはWindowsとLinuxを選択起動できるシステム、1セットはLinux専用システム、もう1セットはWindows専用システムでシングルボードマイコンの実習も可能なシステムとなっています。

名取キャンパス

技術者には情報機器を駆使して問題を解決する能力が要求されています。情報基盤センターには最新の高速サーバと情報端末パソコンが整備され、高度情報化社会に対応する情報技術教育、研究に応えられる施設として設置されました。

情報技術教育用として演習システムが整備されており、授業以外でも自習室や図書館からキャンパス情報ネットワーク経由で利用することができるようになっています。情報端末パソコンは使用目的に応じてLinuxとWindowsから選んで利用することができます。ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション、ペイント、ドローの各ソフトも最新のものがインストールしており、情報処理の授業等でこれらの機器・ソフトウェアを利用し、情報交換や情報処理等のコンピュータ技能を高めることができます。また、FortranやC++のプログラム開発環境も導入されており、準学士課程や専攻科課程の研究にも利用されています。

キャンパス情報ネットワークは情報基盤センターを中枢としてキャンパス内全域をギガビットイーサネットで結び、東北学術研究インターネットコミュニティ経由でインターネットに接続されています。学生、教職員は各自メールアドレスを持ち、電子メールやWorld Wide Webなどを利用してレポート作成や国内外との情報交換、情報発信、業務連絡に利用しています。情報基盤センターには各種サーバ、ネットワーク機器、管理装置が設置されており、学術情報及び世界の情報資源へのアクセスを提供しています。



情報基盤センター

創造教育センター (広瀬キャンパス)

■創造教育棟

自主性を伸ばし、創造性豊かな人材を育成する新しい教育システムを推進する目的のために創造教育棟を平成15年度に設置しました。本棟では具体的に、

- (1) 学生の自主性を伸ばす「ものづくり」教育の充実
 - ①「発想→調査→設計→製作→評価」の一連の流れの体験
 - ②3次元の広い空間を利用した夢のある研究テーマの具体化
- (2) 組み込みシステム教育の充実
- (3) 情報通信技術（ICT）を活用した教育（語学演習、遠隔授業など）の強化等々を推進していきます。



創造教育棟

建物は3階建てで、1階は創造教育工房（広くて天井の高い創造空間で、ロボット製作をはじめ、電気自動車、飛行物体など、大型の創造物の製作等を行う）、語学情報演習室（コンピュータを活用した外国語演習、3D-CADによる設計・製図等を行う）、創造プロジェクト室（プログラミングコンテストなどの特定のプロジェクトを遂行したり、グループワークによるコンピュータ実習と工作作業等を行う）及び管理室があります。

2階はコンピュータ演習室（マイクロコンピュータ及び組み込みシステムの授業、eラーニングによる自学自習等を行う）、及びロボカップサッカーやETロボコンの活動場所があります。

3階はICTメディア室（遠隔会議システムを利用した遠隔授業、講演の遠隔配信等を行う）があります。

また、各階には明るく開放的なリフレッシュスペースがあり、学生の新鮮な創造力の発展に役立っています。

■実験実習試作室

実験実習試作室は、あらゆるものがマイコンで制御される時代の到来を予見し、メカトロニクス分野の教育充実のために、およそ30年前に設置されました。

当施設は、加工技術の訓練実習のためではなく、学生や教員が作りたいものを、自ら作るための施設で、本校の歴史あるPBL教育やAI教育に活用されてきました。

独創的な教育・研究は、教材や実験装置を独自に製作することに始まるといえます。

実験実習試作室には、一般工作機械はもとより、最新の3D CAD/CAM、高精度NC工作機械、さらには、レーザー加工機など最先端の加工設備を備え、ロボコンなどの学生の創造的な試作活動や、精密加工を必要とする教材や研究装置の試作・開発に利用されています。

主な設備は、旋盤、手動NC旋盤、ターニングセンタ、フライス盤、手動NCフライス盤、マシニングセンタ、高精密NCワイヤ放電加工機、デジタル溶接電源を備えた多関節型溶接ロボット、レーザー彫刻機、2.5kW炭酸ガスレーザー加工機、1.5kWファイバーレーザートーチを備えた大型ロボットシステム、これらの加工設備に加え、CNC三次元測定機、CNC画像測定機など精密測定設備も備えています。



実験実習試作室 1.5kWファイバーレーザートーチ・ロボットシステム

■電子デバイス試作室

電子デバイス試作室はデバイスを実際に作成したり、その特性評価を行うことを目的としています。そのために新しい電子材料の合成やデバイスを試作するプロセス技術の実習に必要な環境と装置類が準備されています。具体的には、デバイス試作の基本技術である酸化膜成長、フォトリソグラフィ、不純物拡散、電極形成等の実験を行うことができます。

主な施設、設備は次のとおりです。

- ・クリーンルーム 面積94.00㎡（8号棟）
- ・クリーンベンチ、ドラフトチャンバー、マスクアライナー、超純水製造装置、光学顕微鏡、走査型顕微鏡、プローブ顕微鏡、超音波ボンダ、混合ガス流量制御装置、真空蒸着装置、スパッタ蒸着装置、素材表面・界面解析システム、X線回折装置



電子デバイス試作室
素材表面界面解析システム

創造教育センター（名取キャンパス）

鉛筆で描かれた線の中心をはずさないように、くり小刀で丁寧に木を削り、やがて木型ができあがる。木型は砂に込められ、鋳型ができる。誘導溶解炉の炉内で溶解した鉄をとりべに受け、静かに、鋳型に流し込むと鋳物ができる。橙色に熱せられた鋼をアンビルの上でたたいて形を変える。溶接棒の先端に発する閃光は、溶接面の向こうで、2枚の鉄片を1枚の板に変える。金属で金属を削る。

はるか昔から人間が獲得してきた技術を実習することにより、長く深い技術の歴史や人間の「英知」を知る。伝えられた「英知」は学生の感性を豊かにし、新たなことに「挑戦」するためのエネルギーとなる。

教育と研究のための肥沃な大地、ロボットコンテストのロボットの揺りかご、技術と科学のための工房、仙台高専名取キャンパスの創造教育センターはそのような場です。

施設と設備

機械仕上工房

精密旋盤
立てフライス盤
ラム型立てフライス盤
横フライス盤
平面研削盤
万能円筒研削盤
小型ホブ盤
高速帯鋸盤
卓上ボール盤
キー溝加工機
直立ボール盤
ラジアルボール盤
両頭グラインダ

NC加工室

高精度マシニングセンタ
マシニングセンタ
NC旋盤
CAMソフト

鍛造工房

ガス焼き回転加熱炉
エアハンマ
両頭グラインダ
ベルトグラインダ

板金工房

コンターマシン
スケヤシャー
高速砥石切断機
折り曲げ機
三本ロール曲げ機

溶接工房

交流アーク溶接機
ガス溶接器
TIG溶接機
CO₂アーク溶接機
スポット溶接機
エアブラスマ切断機

鋳造工房

高周波誘導溶解炉
定温乾燥機

木型工房

木工帯鋸盤
万能木工機
糸鋸盤
角のみ盤
卓上ボール盤



溶接実習



旋盤実習



鍛造実習



危険予知活動

学生相談室

学生相談室は、学生の悩みを共に考え、問題解決のお手伝いをするために設置されているものです。学生相談室のスタッフは、常勤のカウンセラーの他に定期的に来校するカウンセリングの専門家と、いつでも相談できる校内相談員です。なお、学生だけでなく、保護者からの学生に関する相談にも応じる体制を取っています。

広瀬キャンパス

相談員	相談時間
カウンセラー	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
校内相談員（4名）	随時



相談室

名取キャンパス

相談員	相談時間
カウンセラー	月曜日 午前9時～午後5時
	火曜日 午前9時～午後5時
	水曜日 前期：午前11時～午後5時 後期：午前9時～午後5時
	木曜日 午前9時～午後5時
	金曜日 午前9時～午後5時
校内相談員（8名）	随時



FD講演会

特別支援室

特別支援室は、発達障害者支援法に基づいて設けられた組織です。自閉症スペクトラムなどの特徴を持つ学生に対して、教員による支援グループを結成して、学生の状態に応じて適切な支援を行うことを目指しています。



入口（カードキーで入室）



お茶も飲めます



カウンセリングのための空間



カウンセラーの先生（執務中）

学生寮

松韻寮（広瀬キャンパス）

広瀬キャンパス松韻寮の定員は182人（男子寮132人、女子寮50人）で、男子寮（北寮）、女子寮及び南寮の3つの建物が食堂を中心に配置されています。南寮には留学生、海外からの研修生、専攻科生が入居しています。

また、3棟は学校と隣接しているので、研究や実験、クラブ活動に打ち込む寮生が多くなっています。

寮生数

（単位：人）

	総合工学科Ⅰ類	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	専攻科	合 計
第1学年	35 (4)				4 (0)	39 (4)
第2学年	26 (3)				2 (0)	28 (3)
第3学年		6 (0)	9 (2) [1]	7 (2)		22 (4) [1]
第4学年		10 (0)	7 (1) [1]	7 (1) [1]		24 (2) [2]
第5学年		6 (0)	9 (1)	8 (2) [1]		23 (3) [1]
計	61 (7)	22 (0)	25 (4) [2]	22 (5) [2]	6 (0)	136 (16) [4]

（ ）内は女子学生で内数である。[] 内は留学生で内数である。

学寮の行事

4月中旬	新寮生歓迎会
7月中旬	夏祭り
12月中旬	冬祭り
2月上旬	卒業式・卒業生夕食会



松韻寮（広瀬キャンパス）



松韻寮 夏祭り（BBQ）

萩花寮（名取キャンパス）

名取キャンパス萩花寮の定員は217人（男子156人、女子61人）で南寮、北寮、東寮、女子寮及び西寮の5棟があり、居室には学習机、椅子、ロッカー及びベッド等が備え付けられ、2人部屋と1人部屋があります。

また、各棟には共同使用の談話室、補食室、シャワー室等もあり、別棟には学習室、パソコン室、食堂、浴室等が完備されています。

寮生数

（単位：人）

	総合工学科Ⅱ類	総合工学科Ⅲ類	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル環境工学科	建築デザイン学科	合 計
第1学年	20 (5)	11 (4)					31 (9)
第2学年	15 (4)	10 (2)					25 (6)
第3学年			6 (1) [1]	4 (1)	7 (2)	14 (7) [1]	31 (11) [2]
第4学年			6	5 [1]	7 (4) [2]	12 (6)	30 (10) [3]
第5学年			9 [1]	7 [1]	6 (1)	19 (10) [1]	41 (11) [3]
計	35 (9)	21 (6)	21 (1) [2]	16 (1) [2]	20 (7) [2]	45 (23) [2]	158 (47) [8]

（ ）内は女子学生で内数である。[] 内は留学生で内数である。

学寮の行事

4月	新入寮生歓迎夕食会
5月	スポーツ大会
7月	寮祭
10月	野外食、スポーツ大会
12月	クリスマス会
2月	予餞会・卒業生テーブルマナー講習会



萩花寮（名取キャンパス）



萩花寮 クリスマス会

学生の定員及び現員

平成30年4月1日現在

(単位：人)

■準学士課程

学科	入学 定員	現 員					計
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	
総合工学科（Ⅰ類）	280	131 (17)	126 (17)				257 (34)
総合工学科（Ⅱ類）		128 (17)	126 (27)				254 (44)
総合工学科（Ⅲ類）		44 (19)	42 (16)				86 (35)
機械システム工学科				42 (2) [1]	46 (3)	42 (0) [1]	130 (5) [2]
電気システム工学科				45 (4)	39 (4) [1]	35 (3) [1]	119 (11) [2]
マテリアル環境工学科				41 (8)	49 (10) [1] <1>	36 (8)	126 (26) [1] <1>
建築デザイン学科			1	43 (20) [1]	45 (14)	41 (18) [1]	130 (52) [2]
知能エレクトロニクス工学科				41 (4)	30 (2)	35 (4)	106 (10)
情報システム工学科				44 (10) [1]	39 (5) [1]	36 (7)	119 (22) [2]
情報ネットワーク工学科				41 (10) [1]	38 (5) [1]	42 (12) [1]	121 (27) [3]
計	280	303 (53)	295 (60)	297 (58) [4]	286 (43) [3] <1>	267 (52) [4]	1,448 (266) [12] <1>

()内は女子学生、[]は男子留学生、< >は女子留学生でいずれも内数である。

■専攻科

学科	入学 定員	現 員		計
		第1学年	第2学年	
生産システムデザイン学専攻	40	51 (3)	50 (7)	101 (10)
情報電子システム工学専攻	30	33 (3)	32 (6)	65 (9)
計	70	84 (6)	82 (13)	166 (19)

()内は女子学生で内数である。

奨学生数 (平成29年度実績)

(単位：人)

■準学士課程

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	計
学生数	297	298	289	283	286	1,453
日本学生支援機構	22	24	13	26	27	112
その他の奨学会	4	17	10	15	12	58
学生数に対する比率 (%)	8.75	13.75	7.95	14.48	13.63	11.69

■専攻科

	第1学年	第2学年	計
学生数	82	76	158
日本学生支援機構	8	13	21
その他の奨学会	3	7	10
学生数に対する比率 (%)	13.41	26.31	19.62

出身地別在学者数

平成30年4月1日現在

区分	1年	2年	3年	4年	5年	計
宮城県						
仙台市	143 (28)	148 (30)	143 (21)	135 (19)	119 (21)	688 (119)
名取市	32 (4)	20 (3)	25 (5)	33 (5)	19 (2)	129 (19)
岩沼市	11 (2)	15 (3)	8 (2)	13 (1)	12 (1)	59 (9)
塩竈市	6	1	8 (1)	5 (1)	5 (1)	25 (3)
多賀城市	8 (1)	7 (1)	10 (2)	9 (1)	7 (3)	41 (8)
白石市	3	6 (1)	2	2 (1)	1	14 (2)
石巻市	5	5	5 (1)	3 (1)	10 (1)	28 (3)
気仙沼市	1	1	1		1	4
角田市	1 (1)	2	2	2 (1)	3 (1)	10 (3)
登米市	2	1		2	3 (1)	8 (1)
栗原市			1			1
東松島市		5	2 (1)		2	9 (1)
大崎市	2 (1)	4	4 (2)	2	3 (1)	15 (4)
富谷市	12 (2)	2 (1)	8 (1)	3 (1)	4 (1)	29 (6)
宮城郡	9 (1)	8 (2)	9	5	5 (1)	36 (4)
亘理郡	7	7 (3)	7 (1)	4 (1)	6 (2)	31 (7)
柴田郡	11 (3)	12 (4)	5 (2)	7 (2)	9 (3)	44 (14)
刈田郡		3		2	1	6
伊具郡	1	1	1			3
黒川郡		1	1	1	1	4
加美郡	1		1	1	3 (1)	6 (1)
遠田郡			1	2	4	7
県内計	255 (43)	249 (48)	244 (39)	231 (34)	218 (40)	1,197 (204)
県外						
北海道	1					1
青森県		2 (1)	2 (1)	(3)	3 (3)	5 (4)
岩手県	10 (1)	3 (1)	1 (1)	6 (2)	5 (2)	25 (7)
秋田県		1 (1)			1	2 (1)
山形県	12	21 (4)	20 (6)	15 (4)	19 (3)	87 (17)
福島県	22 (9)	19 (5)	25 (11)	29 (3)	15 (4)	110 (32)
新潟県		1 (1)				1 (1)
茨城県					1	1
栃木県						0
埼玉県	1		1		1	3
神奈川県	1					1
福岡県	1					1
鹿児島県		1				1
県外計	48 (10)	46 (12)	49 (19)	50 (9)	45 (12)	238 (62)
合 計	303 (53)	295 (60)	293 (58)	281 (43)	263 (52)	1435 (266)
県内%	84.2	84.4	83.3	82.2	82.9	83.4
県外%	15.8	15.6	16.7	17.8	17.1	16.6
留学生						
マレーシア			1	2	1	4
インドネシア				1		1
モンゴル			2	2 (1)	3	7 (1)
タイ			1			1
小 計	0 (0)	0 (0)	4 (0)	5 (1)	4 (0)	13 (1)
総 計	303 (53)	295 (60)	297 (58)	286 (44)	267 (52)	1448 (267)

() 内は女子学生で内数である。

編入学試験実施状況

	平成30年度			平成29年度			平成28年度		
	志願者数	受検者数	合格者数	志願者数	受検者数	合格者数	志願者数	受検者数	合格者数
機械システム工学科	3	3	3	2	2	2	1	1	0
電気システム工学科	1	1	1	0	0	0	4	4	2
マテリアル環境工学科	0	0	0	0	0	0	1	1	1
建築デザイン学科	2	2	2	2	2	1	1	1	1
知能エレクトロニクス工学科	0	0	0	1	1	0	2	2	0
情報システム工学科	2	2	0	1	1	1	2	2	1
情報ネットワーク工学科	3	3	2	1	1	1	1	1	1

入学志願者数の状況

■ 仙台高等専門学校入学者選抜試験

	合計	総合工学科 Ⅰ類	総合工学科 Ⅱ類	総合工学科 Ⅲ類					
平成30年度									
募集人員 (a)	280	120	120	40					
志願者数 (b)	415	175	174	66					
受検者数	411	175	171	65					
合格者数	300	129	127	44					
入学者数	300	129	127	44					
倍率 (b/a)	1.5	1.5	1.5	1.7					
平成29年度									
募集人員 (a)	280	120	120	40					
志願者数 (b)	404	154	171	79					
受検者数	398	152	168	78					
合格者数	295	126	127	42					
入学者数	294	126	126	42					
倍率 (b/a)	1.4	1.3	1.4	2.0					
	合計	機械システム 工学科	電気システム 工学科	マテリアル 環境工学科	建築デザイン 学科	知能エレクトロ ニクス工学科	情報システム 工学科	情報ネットワー ク工学科	
平成28年度									
募集人員 (a)	280	40	40	40	40	40	40	40	
志願者数 (b)	415	56	55	51	66	59	65	63	
受検者数	408	56	55	49	64	58	65	61	
合格者数	293	42	42	42	41	42	42	42	
入学者数	290	41	42	42	41	42	41	41	
倍率 (b/a)	1.5	1.4	1.4	1.3	1.7	1.5	1.6	1.6	
平成27年度									
募集人員 (a)	280	40	40	40	40	40	40	40	
志願者数 (b)	462	72	61	62	70	65	79	53	
受検者数	451	69	60	61	69	63	78	51	
合格者数	294	42	42	42	42	42	42	42	
入学者数	293	42	42	42	42	42	42	41	
倍率 (b/a)	1.7	1.8	1.5	1.6	1.8	1.6	2.0	1.3	

第2志望以下の学科・類に合格した者については、当該学科として計上

■ 専攻科入学者選抜試験

		募集人員	生産システムデザイン工学専攻						募集人員	情報電子システム工学専攻					
			志願者数 (人)			合格者数 (人)				志願者数 (人)			合格者数 (人)		
			男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計
平成30年度	推薦	20	33	3	36	31	3	34	15	24	3	27	14	1	15
	学力	20	31	0	31	23	0	23	15	30	3	33	22	2	24
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		64	3	67	54	3	57	合計	54	6	60	36	3	39
平成29年度	推薦	20	28	6	34	28	6	34	15	14	6	20	14	6	20
	学力	20	25	3	28	21	2	23	15	21	1	22	17	0	17
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		53	9	62	49	8	57	合計	35	7	42	31	6	37
平成28年度	推薦	20	23	7	30	22	7	29	15	13	1	14	12	1	13
	学力	20	23	3	26	18	2	20	15	31	2	33	24	2	26
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		46	10	56	40	9	49	合計	44	3	47	36	3	39
平成27年度	推薦	20	25	6	31	25	6	31	15	16	3	19	14	3	17
	学力	20	37	5	42	21	4	25	15	24	1	25	21	1	22
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		62	11	73	46	10	56	合計	40	4	44	35	4	39

卒業生の進路状況

■大学編入学等状況【平成29年度】

大 学 名	人数
仙台高等専門学校専攻科	84 (6)
室蘭工業大学	1
弘前大学	1
岩手大学	5
東北大学	2
秋田大学	1 (1)
山形大学	3 (1)
福島大学	1
茨城大学	1
筑波大学	1
埼玉大学	1
千葉大学	2

大 学 名	人数
新潟大学	1
長岡技術科学大学	5 (1)
福井大学	1
名古屋大学	1
豊橋技術科学大学	6
大阪大学	1
公立はこだて未来大学	1
東北芸術工科大学	1
東海大学	1
専門学校	3
合 計	124 (9)

() 内は女子学生で内数である。



企業説明会

■大学院進学状況【平成29年度】

大 学 院 名	人数
東北大学大学院	14 (1)
電気通信大学大学院	1

大 学 院 名	人数
長岡技術科学大学大学院工学研究科	1
名古屋大学大学院情報科学研究科	1
合 計	17 (1)

() 内は女子学生で内数である。



企業見学

平成29年度就職状況

広瀬キャンパス

産業別就職状況

	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	計	専攻科	合 計
■建設業		2	1	3		3
■製造業						
食料品・飲料・たばこ・飼料						
繊維工業						
印刷・関連連業						
化学工業・石油・石炭製品						
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品						
精密機械器具						
一般機械	1	1		2	3	5
電気・情報通信機械器具	4 (1)	1	1	6 (1)	3	9 (1)
輸送用機械器具						
その他	5	2	1	8		8
■電気・ガス・熱供給・水道業	1	1	1	3	1	4
■情報通信業	3	6	10 (1)	19 (1)	11 (1)	30 (2)
■運輸業・郵便業	1		1	2	1	3
■卸売・小売業					1	1
■金融・保険業						
■不動産業						
■学術研究、専門・技術サービス業	2 (1)	1	1	4 (1)	1	5 (1)
■教育、学習支援業						
■医療、福祉						
■複合サービス事業		6 (2)	2	8 (2)	1	9 (2)
■サービス業						
■公務						
国家公務					1	1
地方公務						
■そ の 他		1		1		1
合 計	17 (3)	21 (2)	18 (1)	56 (6)	23 (1)	79 (7)

() 内は女子学生で内数である。

所在地別就職状況

	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	計	専攻科	合 計
東北地区	6	6	4	16	3	19
関東地区	6	11	13	30	18	48
その他	5	4	1	10	2	12
合 計	17	21	18	56	23	79

就職先一覧

【本 科】

(株)アクト
(株)アルファシステムズ
(株)エスクルー
(株)NHKメディアテクノロジー
NTTコムエンジニアリング(株)
(株)NTTファシリティーズ東北
(株)キャノン
京セラコミュニケーションシステム(株)
KDDIエンジニアリング(株)
(株)ケー・ヒンエレクトロニクステクノロジー
コベルコソフトサービス(株)
COM電子開発(株)
(株)JVCケンウッド
(株)ジュピターテレコム
ソニーストレージメディアマニュファクチャリング(株)
ダイキン工業(株)
中外製薬工業(株)
中部電力(株)
DMG森精機(株)

(株)デジタルルハーツ
(株)TTK
東海旅客鉄道(株) (JR東海)
東京エレクトロングループ
東京ガス(株)
東芝ブラントシステム(株)
(株)ドコモCS東北
トヨタ自動車東日本(株)
ナブコシステム(株)
日信電子サービス(株)
日本たばこ産業(株)
日本電設工業(株)
パイオニアシステムテクノロジー(株)
バイスリープロジェクト(株)
(株)ハイマックス
(株)パワーハウス
東日本高速道路(株) (NEXCO東日本)
東日本旅客鉄道(株) (JR東日本)
(株)日立ソリューションズ東日本
(株)日立ハイテクフィールドینگ

(株)ピッツ
(株)ヒトクセ
フジテック(株)
(株)プロトコーポレーション
本田技研工業(株)
ムラテック販売(株)
(株)ユアテック
自営業

【専 攻 科】

(株)アトラエ
NEC
(株)ファインデックス
東海旅客鉄道(株)
六興電気(株) (東北支店)
富士アイティ
新東電算(株)
(株)やまや
京セラコミュニケーションズ
メンバーズ

パイオニアシステムテクノロジー
日立ソリューションズ東日本
(株)アイ・エム・ジェイ
本田技研工業
ソフトバンク
公務員 (東北管区警察局)

NTTコミュニケーションズ
三菱電機特機システム
KDDI(株)
ブロードバンドタワー
ソフトブレーン(株)
東京エレクトロンFE

求人及び就職状況

	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	計	専攻科	合計
卒業・修了者数	39	45	26	110	33	143
進学その他	22	24	8	54	10	64
就職者数	17	21	18	56	23	79
求人企業	408				358	766
求人数	510				394	904

名取キャンパス

産業別就職状況

	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル環境工学科	建築デザイン学科	計	専攻科	合 計
■建設業		2	1	12 (4)	15 (4)	6 (2)	21 (6)
■製造業							
食料品・飲料・たばこ・飼料	1		1		2	1	3
繊維工業							
印刷・関連産業			1		1		1
化学工業・石油・石炭製品	2		8 (2)		10 (2)	1	11 (2)
鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	7				7	2 (1)	9 (1)
はん用・生産用・業務用機械器具	4	5	2		11	6	17
電子部品・デバイス・電子回路	1	3	1		5		5
電気・情報通信機械器具	1				1		1
輸送用機械器具	1	2		1	4	1	5
その他	1	3	5 (1)		9 (1)	3 (1)	12 (2)
■電気・ガス・熱供給・水道業		3	2 (1)		5 (1)	2	7 (1)
■情報通信業		1	2 (2)		3 (2)	2 (1)	5 (3)
■運輸業・郵便業	1			1 (1)	2 (1)	2 (1)	4 (2)
■卸売・小売業							
■金融・保険業							
■不動産業			1		1		1
■学術研究・専門・技術サービス業		1			1		1
■教育・学習支援業						1	1
■医療・福祉							
■複合サービス事業							
■サービス業	5 (2)	5	2 (1)	3 (1)	15 (4)	5 (2)	20 (6)
■公務							
国家公務							
地方公務	1			1	2		2
■その他							
合 計	25 (2)	25 (0)	26 (7)	18 (6)	94 (15)	32 (8)	126 (23)

() 内は女子学生で内数である。

所在地別就職状況

	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル環境工学科	建築デザイン学科	計	専攻科	合 計
東北地区	4	6	6 (3)	4 (1)	20 (4)	7	27 (4)
関東地区	15 (1)	14	16 (3)	12 (5)	57 (9)	20 (8)	77 (17)
その他	6 (1)	5	4 (1)	2	17 (2)	5	22 (2)
合 計	25 (2)	25	26 (7)	18 (6)	94 (15)	32 (8)	126 (23)

就職先一覧

【本 科】

アークレイ(株)
 アイシン・コムクルーズ(株)
 会津オリンパス(株)
 曙ブレーキ工業(株)
 旭化成(株)
 (株)アルプス技研
 イオンディスプレイ(株)
 いすゞエンジニアリング(株)
 (株)エイアンドティー
 (株)NTTファシリティーズ東北
 (株)エネ・グリーン
 (株)MBM
 オムロン(株)
 花王(株)
 鹿島建設(株)
 (株)カンセツ
 (株)クレハ
 (株)小松製作所
 五洋建設(株)
 (株)鷺宮製作所
 サンドビックツリーディングサブライザジャパン(株)
 三洋化成工業(株)
 JSR(株)
 JXエンジニアリング(株)
 JXTGエネルギー(株)仙台製油所
 JXTGエネルギー(株)中央技術研究所
 (株)ジェイエムエンジニアリング
 JFEスチール(株)

(株)ジャムコエアロマニュファクチャリング
 首都高技術(株)
 水King(株)
 SUBARUテクノ(株)
 セイコーエプソン(株)
 仙台市消防局
 仙台市役所
 (株)山台ニコソ
 ソニーエンジニアリング(株)
 ソニーコーポレートサービス(株)
 ソニーストレージメディアマニュファクチャリング(株)
 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
 大東建託(株)
 高砂熱学工業(株)
 武田パファーマ(株)
 (株)竹中工務店
 DIC(株)
 DMG森精機(株)
 (株)ディオ・ホリ
 (株)テクノプロ テクノプロ・デザイン社
 東海旅客鉄道(株)
 東京ガス(株)
 東芝エレベータ(株)
 東北インフォメーション・システムズ(株)
 東北電力(株)
 東洋インキSCホールディングス(株)
 DOWAホールディングス(株)
 戸田建設(株)
 (株)ナカノフドー建設

日東紡績(株)
 日本精工(株)
 日本ハム食品(株)
 パーソルR&D(株)
 バイオニアシステムテクノロジー(株)
 (株)ハイマックス
 (株)東日本エンジニアリング
 東日本旅客鉄道(株)
 (株)日立ビルシステム
 (株)フィリップスエレクトロニクスジャパン
 福島太陽誘電(株)
 フジテック(株)
 富士電機(株)
 (株)復建技術コンサルタント
 ボーライト(株)
 (株)マイスターエンジニアリング
 マニー(株)
 三井製糖(株)
 三菱電機ビルテクノサービス(株)
 三菱日立パワーシステムズ(株) 高砂工場
 (株)八重樫工務店
 (株)ユアテック
 ライオン(株)
 リンク情報システム(株)

【専 攻 科】

アイベックスエアラインズ(株)
 (株)アウトソーシングテクノロジー
 ANAラインメンテナンステクノニクス(株)

(株)インテリジェンスビジネスソリューションズ
 (株)エイアンドティー
 NECフィールディング(株)
 (株)NTTファシリティーズ東北
 (株)オノヤ
 花王(株)
 (株)ケーヒン
 (株)小松製作所
 サントリーホールディングス(株)
 (株)ジーテクト
 JX金属(株)
 (株)関・空間設計
 仙建工業(株)
 ソニーストレージメディアマニュファクチャリング(株)
 (株)大建設計
 大和ハウス工業(株)

坪田塾
 東急建設(株)
 東燃ゼネラル石油(株)
 東北電力(株)
 東北バイオニアEG(株)
 日本郵政(株)
 日本空港テクノ(株)
 日本電子(株)
 パナソニック(株)アプライアンス社
 (株)日立ハイテクフィールディング
 フジテック(株)
 (株)牧野フライス製作所
 メタウォーター(株)

求人及び就職状況

	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル環境工学科	建築デザイン学科	計	専攻科	合計
卒業・修了者数	43	48	42	38	171	41	212
進学その他	18	23	16	20	77	9	86
就職者数	25	25	26	18	94	32	126
求人企業	508	525	247	238	1,514	643	2,157
求人数	540	566	256	260	1,622	670	2,292

学校行事

仙台高専では年間を通じおおよそ次のような行事があります。

4月	入学式 新入生合宿研修（名取キャンパス） 実力試験（広瀬キャンパス1年） 定期健康診断	10月	プログラミングコンテスト 高専祭
5月	スポーツ大会（広瀬キャンパス） 第3学年校外研修（名取キャンパス） 前期中間試験（広瀬キャンパス）	11月	ロボットコンテスト東北地区大会 第4学年研修旅行 デザインコンペティション 専攻科産学連携シンポジウム 後期中間試験 ロボットコンテスト全国大会
6月	宮城県高校総体 第2学年校外研修（広瀬キャンパス） 前期中間試験（名取キャンパス）	12月	吹奏楽部定期演奏会（広瀬キャンパス） プラスバンドコンサート（名取キャンパス） TOEIC試験（広瀬キャンパス第1～2学年） 冬季休業
7月	東北地区高専体育大会 前期期末試験 オープンキャンパス	1月	第3学年学習到達度試験 後期期末試験（5年）
8月	夏季休業 全国高専体育大会	2月	後期期末試験（1～4年） 第5学年卒業研究発表
9月	スポーツ大会 TOEIC-IP試験等 第3学年校外研修（広瀬キャンパス）	3月	卒業式 学年末休業



入学式



スポーツ大会



高専体育大会



オープンキャンパス



ロボットコンテスト



高専祭



第4学年研修旅行



卒業研究発表

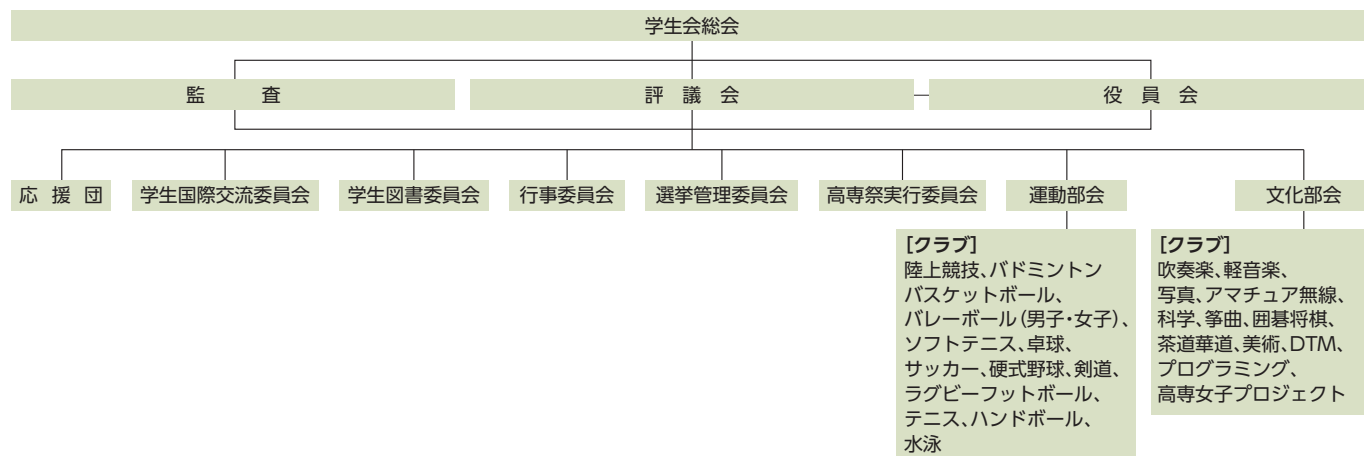


卒業式

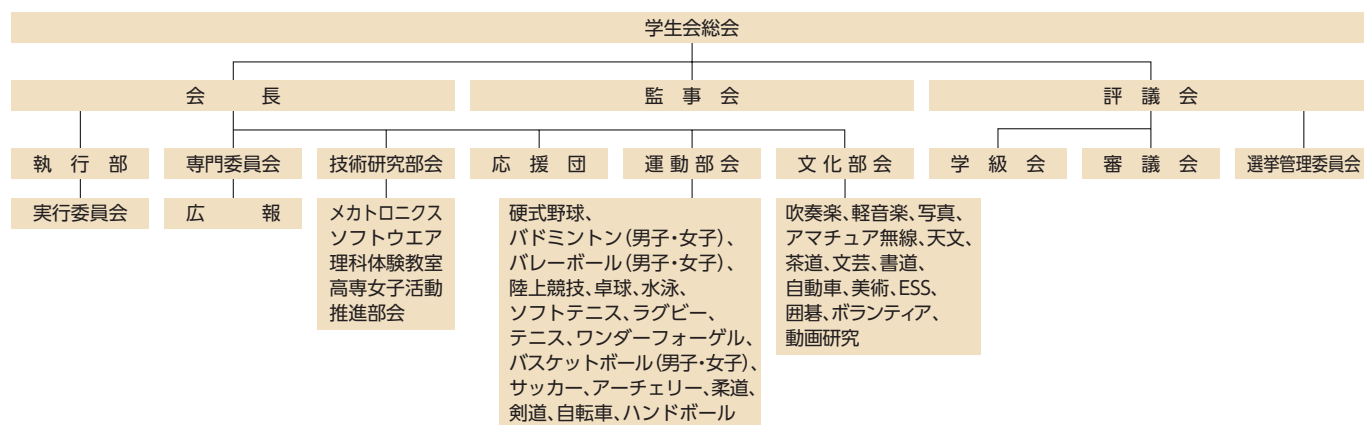
課外活動

学生会は学生全員で構成される組織で、執行部、評議会、技術研究部会、文化部会、運動部会、応援団などの組織からなります。クラブ活動のほかに、スポーツ大会、高専祭、他高専との親善交流など、多彩な行事を行っています。

◆広瀬キャンパス



◆名取キャンパス



剣道部



アーチェリー部



バドミントン部



サッカー部



柔道部



吹奏楽部



硬式野球部



箏曲部



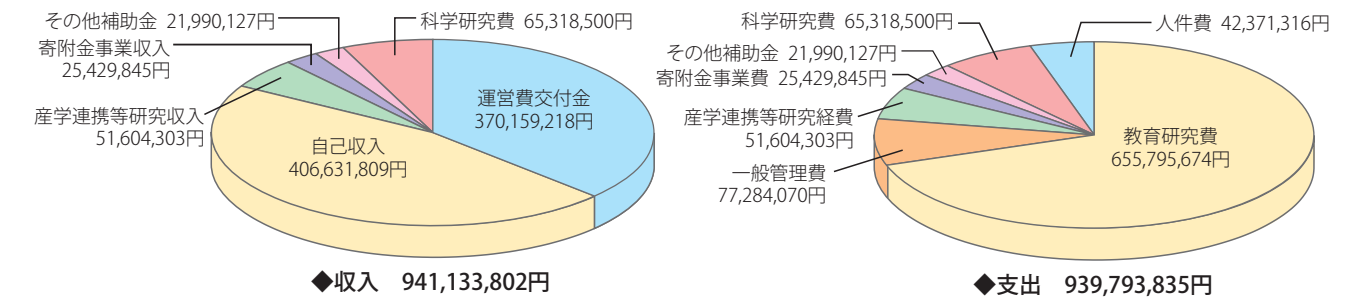
アマチュア無線部



バスケットボール部

収入・支出

■平成29年度収入・支出額（広瀬キャンパス・名取キャンパス合算）



土地・建物

■広瀬キャンパス

単位: m ²					
校舎敷地	学寮敷地	運動場敷地	計		
51,101	15,697	39,320	106,118		
名 称	設置年度	構造	地上階	面積	
1号棟 (管理棟)	1974	RC	2	735	
2号棟 (図書館)	1974	RC	2	1,601	
3号棟 (研究実験棟)	1974	RC	4	2,799	
4号棟 (講義棟)	1974	RC	2	2,011	
5号棟 (電子計算機室)	1976	RC	1	306	
6号棟 (旧電子工学科棟)	1977	RC	2	788	
6号棟 (旧情報工学科棟)	1978	RC	3	1,722	
7号棟 (情報処理設計工作室)	1981	RC	2	786	
8号棟 (旧電子制御工学科棟)	1986	RC	4	2,850	
9号棟 (地域連携テクノセンター)	1994	RC	2	463	
10号棟 (専攻科研究実験棟)	1995	RC	3	939	
11号棟 (創造教育棟)	2003	RC	3	1,538	
車庫	1974	RC	1	162	
守衛室	1974	RC	1	29	
プロパン格納庫	1974	RC	1	11	
物品倉庫	1974	CB	1	183	
書類倉庫	1974	W	2	116	
13号棟 (第一体育館)	1974	S	1	1,021	
14号棟 (第二体育館)	1983	S	1	893	
15号棟 (武道館)	1974	S	1	225	
屋外運動場付属施設	1976	CB	1	159	
部室	1974	S	1	228	
倉庫	1974	S	1	40	
合宿研修所	1978	RC	1	200	
12号棟 (松韻会館)	1985	RC	2	896	
女子更衣室	1990	CB	1	33	
松韻寮 (南寮)	1975	RC	5	1,905	
松韻寮 (北寮)	1984	RC	5	3,025	
松韻寮 (女子寮)	1982	RC	4	917	
設備機械室	1974	RC	1	198	

■名取キャンパス

単位: m ²					
校舎敷地	学寮敷地	運動場敷地	その他	計	職員宿舍敷地
43,609	11,771	30,269	28,796	114,445	6,878
名 称	設置年度	構造	地上階	面積	
1号棟 (事務棟)	1981	RC	2	753	
2号棟 (萩工会館)	1983	RC	2	844	
3号棟 (総合科学教育棟)	1999	RC	5	4,506	
4号棟 (研究戦略企画センター)	2000	RC	4	1,751	
5号棟 (共通演習棟)	1999	RC	4	1,161	
6号棟 (建築・電気棟)	1965	RC	3	3,459	
7号棟 (図書館)	1973	RC	2	1,688	
8号棟 (機械・マテリアル環境棟)	1965	RC	3	3,110	
9号棟 (専攻科研究棟)	1995	RC	4	2,288	
10号棟 (創造教育センター)	1964	S	2	1,446	
11号棟 (電子計算機室)	1972	RC	1	303	
12号棟 (第1体育館)	1966	S	2	1,205	
13号棟 (武道場)	2012	S	1	354	
14号棟 (第2体育館)	1978	S	1	882	
守衛室	1964	RC	1	27	
車庫	1990	S	1	151	
倉庫	1964	RC	1	90	
プール付属室	1966	CB	1	51	
体育器具庫	1968	CB	1	23	
体育器具庫	1970	CB	1	83	
更衣室	1972	CB	1	59	
弓道場・アーチェリー場	1971	S	1	78	
合宿研修施設	1977	S	1	215	
課外活動用器具庫	1983	CB	1	111	
課外活動用器具庫	2007	S	1	20	
東寮	1964	RC	3	1,141	
南寮	1965	RC	3	1,095	
寮管理棟	1965	RC	1	583	
学習室	1964	RC	1	46	
食品庫	1966	CB	1	42	
西寮	1969	RC	3	284	
浴室	1969	RC	1	120	
北寮	1969	RC	4	989	
女子寮	1988	RC	3	610	
ボイラー室	1964	RC	1	179	
簡易給水施設	1979	S	1	79	
受変電室	1991	RC	1	45	

教育・研究等活動

外部資金受入状況（平成29年度）

■文部科学省等採択プロジェクト

課題名等	金額(千円)
大学教育再生加速プログラム テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）	12,880
次世代人材育成事業 ジュニアドクター育成塾	8,900
計	21,780

■科学研究費助成事業

研究種目	件数	金額(千円)
基盤研究（B）	2	6,305
基盤研究（C）	33	43,290
挑戦的萌芽	1	650
若手研究（B）	6	8,190
計	42	58,435

■受託研究等、寄附金

区 分	件数	金額(千円)
共同研究	33	20,974
受託研究	5	18,343
受託事業	6	14,126
その他補助金	3	9,365
寄附金	32	25,494
計	79	88,302

産学官金連携（協定）一覧

平成30年9月1日現在

■産業界

- ①産学連携振興会
（法人会員（平成30年9月1日現在）150）
- ②みやぎ産業振興機構と連携協定

■官公庁

- ①宮城県と基盤技術高度化支援にかかる相互協力協定
- ②名取市と連携協定
- ③宮城県立がんセンターと連携協定
- ④宮城県産業技術総合センターと連携協定
- ⑤東松島市と震災復興に向けた連携協定
- ⑥宮城県・仙台市と協働教育基盤による地域高度人材の育成に関する協定
- ⑦宮城県教育委員会と包括連携に関する協定

■大学等教育研究機関

- ①東北大学大学院工学研究科、情報科学研究科、環境科学研究科と協定
- ②東北大学サイバーサイエンスセンターと協定
- ③東北大学大学院医学工学研究科と協定
- ④山形大学工学部と協定
- ⑤宮城県高等看護学校と協定
- ⑥東北工業大学と協定
- ⑦学都仙台コンソーシアム
- ⑧eラーニング高等教育連携に係る遠隔教育による単位互換に関する協定

■金融機関

- ①商工組合中央金庫仙台支店と連携協定
- ②杜の都信用金庫と連携協定

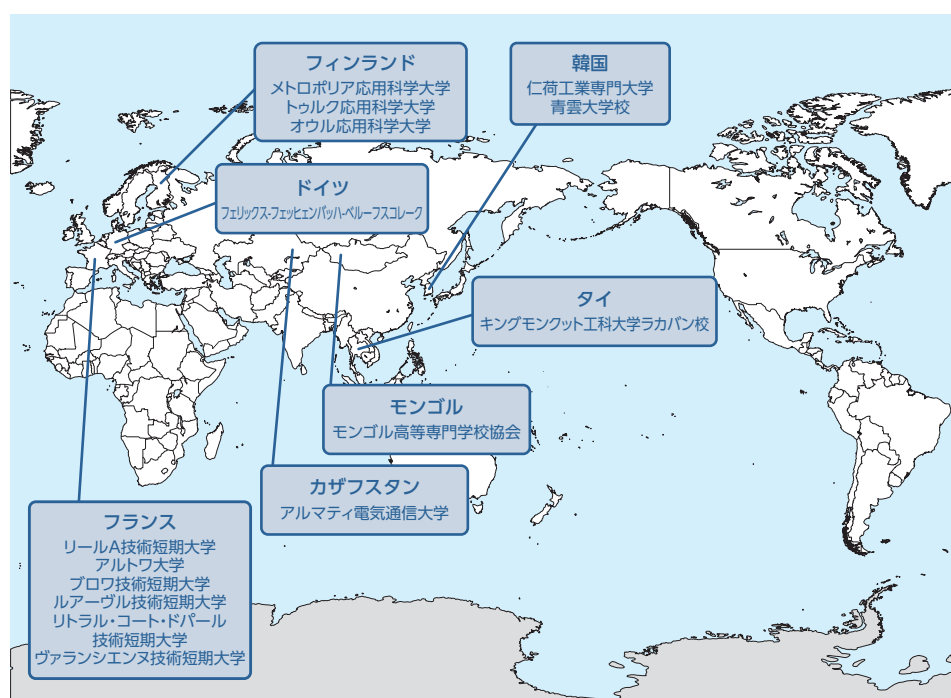
仙台高専

国際交流

平成30年9月1日現在

■学術交流協定締結校一覧

相手国	大学等名	協定締結年月日
韓 国	仁荷工業専門大学 Inha Technical College	宮城高専 1991年10月29日 仙台高専 2009年10月 1 日
	青雲大学校 Chunwoon University	宮城高専 2009年 1 月29日 仙台高専 2009年10月 1 日
タ イ	キングモンクット工科大学ラカバン校 King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang	仙台電波高専 2006年 3 月10日 仙台高専 2009年10月 1 日
モ ン ゴ ル	モンゴル高等専門学校協会 Mongolian National Association of Colleges of Technology	仙台高専 2017年10月23日
カザフスタン	アルマティ電気通信大学 Almaty University of Power Engineering and Telecommunications	仙台高専 2018年 2 月 6 日
ド イ ツ	フェリックス・フェッヒエンバッハ・ベルーフスコレーク Felix-Fechenbach-Berufskollege	宮城高専 2003年 3 月18日 仙台高専 2009年10月 1 日
	メトロポリア応用科学大学 Metropolia University of Applied Sciences	宮城高専 2002年 3 月26日 仙台電波高専 2006年 9 月11日 仙台高専 2009年10月 1 日
	トゥルク応用科学大学 Turku University of Applied Sciences	仙台電波高専 2009年 1 月20日 仙台高専 2009年10月 1 日
フ ラ ン ス	オウル応用科学大学 Oulu University of Applied Sciences	仙台高専 2015年 3 月24日
	リールA技術短期大学（東北地区等高専包括協定） Institut Universitaire de Technologie A de Lille	仙台電波高専 2008年 6 月13日 仙台高専 2009年10月 1 日
	アルトワ大学（東北地区等高専包括協定） Universite d'Artois	仙台高専 2012年 6 月24日
	ブロワ技術短期大学（東北地区等高専包括協定） Institut Universitaire de Blois	仙台高専 2016年 1 月13日
	ルアーヴル技術短期大学（東北地区等高専包括協定） Institut Universitaire de Technologie du Havre	仙台高専 2016年 3 月 1 日
	リトラル・コート・ドパール技術短期大学（東北地区等高専包括協定） Institut Universitaire de Technologie du Littoral Cote d'Opale	仙台高専 2016年 5 月31日
	ヴァランシエンヌ技術短期大学（東北地区等高専包括協定） Institut Universitaire de Valenciennes	仙台高専 2017年 7 月20日



国際学術活動

■学術交流協定に基づく交流実績

	大学等名	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生受入	キングモンクット工科大学ラカバン校（タイ）	14	15	13
	モンゴル高等専門学校協会（モンゴル）	—	—	3
	フェリックス・フェッヒエンバッハ・ベルーフスコレーク（ドイツ）	0	10	0
	メトロポリア応用科学大学（フィンランド）	4	6	0
	トゥルク応用科学大学（フィンランド）	6	4	10
	リールA技術短期大学等（フランス）	6	6	5
	計	30	41	31
学生派遣	キングモンクット工科大学ラカバン校（タイ）	21	28	26
	モンゴル高等専門学校協会（モンゴル）	—	—	3
	フェリックス・フェッヒエンバッハ・ベルーフスコレーク（ドイツ）	10	0	10
	メトロポリア応用科学大学（フィンランド）	7	9	7
	トゥルク応用科学大学（フィンランド）	4	8	7
	リールA技術短期大学等（フランス）	1	0	0
	計	43	45	53

■教職員の海外渡航数（学生引率、国際会議等 延べ人数）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
49	47	72	168

■日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）実績（上段：人数、下段：金額（円））

平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
19	18	29	66
3,520,000	4,500,000	6,720,000	14,740,000

■日本学生支援機構海外留学支援制度（協定受入）実績（上段：人数、下段：金額（円））

平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
14	27	15	56
4,000,000	5,120,000	3,280,000	12,400,000



メトロポリア応用科学大学(フィンランド)との学術交流協定更新調印式



本校学生の短期留学プログラム（ドイツ）

キャンパスマップ

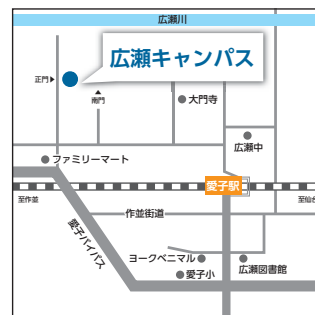
<広瀬>



<名取>



アクセスマップ



広瀬キャンパス (旧仙台電波工業高等専門学校)

■JR 利用の場合

- JR仙台駅から仙山線に乗車約25分
- JR山形駅から仙山線快速で約55分
- JR愛子駅下車、徒歩約15分

■仙台市営バス 利用の場合

- 仙台駅西口バスプールから、作並温泉、定義、白沢車庫行きに乗車約42分、「仙台高専広瀬キャンパス入口」下車、徒歩5分

■車 利用の場合

- 東北道仙台宮城ICから山形方面へ約6.5km約10分
- 仙台駅から西道路、R48経由で約12.5km約30分

■航空機 利用の場合

- 仙台空港からJR仙台駅までは、仙台空港アクセス鉄道で、約25分(快速17分)。仙台駅からは、JRもしくは仙台市営バスをご利用ください。

名取キャンパス (旧宮城工業高等専門学校)

■JR 利用の場合

- JR仙台駅から東北本線・常磐線・仙台空港アクセス線に乗車約14分
- JR名取駅下車、バス約10分、徒歩約25分

■名取市バス「なとりん号」利用の場合

- 名取駅西口のりばから、県立がんセンター線に乗車約10分、「仙台高専名取キャンパス前」下車、徒歩5分

■車 利用の場合

- 東北道仙台南ICから約10km約20分
- 仙台空港から約10km約15分

■航空機 利用の場合

- 仙台空港から名取駅までは、仙台空港アクセス鉄道で、約10分。名取駅からは、徒歩もしくは名取市バス「なとりん号」をご利用ください。



